

沿革

平成元年度	博物館建設構想の策定
平成2年度	第1期建設博物館基本構想・基本計画の策定
平成3年度	(仮称)宇都宮美術館基本設計(建築)の開始 (仮称)宇都宮美術館基本設計(展示)の開始 (仮称)うつのみや文化の森公園基本計画の策定
平成4年度	(仮称)宇都宮美術館実施設計(建築)の開始 (仮称)うつのみや文化の森公園実施計画の策定
平成5年度	宇都宮市企画部文化の森公園推進室 (仮称)宇都宮美術館実施設計(展示)の開始 建設用地の取得 公園整備工事・美術館建設工事の着手
平成6年度	財団法人うつのみや文化の森の設立(平成6年10月1日)、 宇都宮市より(仮称)うつのみや文化の森美術館の開設準備業務を受託
平成7年度	オオタカ生息に伴う保全対策のため工事一時中断 (全面中断 平成7年1月24日～3月21日) (一部中断 平成7年3月22日～7月13日)
平成8年度	財団法人うつのみや文化の森が、 宇都宮市より美術館開設準備業務及び管理運営業務を受託、美術館の竣工(平成8年8月30日) 公園整備工事の完了(平成9年3月2日) 宇都宮美術館開館(平成9年3月23日) うつのみや文化の森の供用開始(平成9年3月23日) 博物館法に基づく博物館として登録(平成9年3月27日)
平成9年度	財団法人うつのみや文化の森が、 宇都宮市より宇都宮美術館及びうつのみや文化の森の管理運営事務並びに 美術館の使用料収納事務を受託 谷新館長就任
平成18年度	財団法人うつのみや文化の森が、 宇都宮市より宇都宮美術館及びうつのみや文化の森の指定管理者に指定され、 管理運営業務を開始(指定期間:平成18年4月1日～平成23年3月31日の5年間)
平成21年度	財団法人うつのみや文化の森が、財団法人宇都宮市文化会館管理公社と合併し、 名称を財団法人うつのみや文化創造財団に改称(平成21年4月1日)
平成22年度	東日本大震災により被災(平成23年3月11日) 震災後の応急対応のため臨時休館(平成23年3月12日～3月31日)
平成23年度	指定管理者に指定(指定期間:平成23年4月1日～平成28年3月31日) 空調熱源改修および収蔵庫増築工事のため休館(平成23年5月30日～平成24年3月23日)
平成24年度	空調工事、収蔵庫増築工事終了にともない、リニューアルオープン(平成24年3月24日)、 名称を公益財団法人うつのみや文化創造財団に改称(平成24年4月1日)
平成28年度	指定管理者に指定(指定期間:平成28年4月1日～平成33年3月31日)
平成29年度	佐々木吉晴館長就任
令和3年度	指定管理者に指定(指定期間:令和3年4月1日～令和8年3月31日) 空調設備改修工事、照明LED化等工事のため休館(令和3年8月1日～令和4年9月24日)
令和4年度	空調等改修工事終了にともない、リニューアルオープン(令和4年9月25日)

目次

沿革	002
令和4年度コレクション展	004
企画展	宇都宮美術館開館25周年記念 全館コレクション展 これらの時間についての夢展…………… 010 陽威二展 混ざりあうカタチ…………… 024 宇都宮美術館開館25周年記念 二つの教会をめぐる石の物語展…………… 040
作品収集・保管	収蔵作品…………… 050 新収蔵作品…………… 052 貸出…………… 053 燻蒸…………… 055 修復…………… 056 宇都宮市美術作品等収集評価委員会…………… 057
教育普及	展覧会関連事業…………… 058 学校・地域との連携…………… 061 博物館実習…………… 069 広報用印刷物…………… 070 森のコンサート…………… 071 森のアトリエ…………… 072 自然観察会…………… 073 宇都宮美術館友の会…………… 074 ボランティア…………… 075
開館25周年記念事業	076
新型コロナウイルス感染症の影響、予防対策とその実践	077
改修工事	078
利用実績	観覧者数・施設利用状況…………… 080
組織	公益財団法人うつのみや文化創造財団概要…………… 082 宇都宮美術館及びうつのみや文化の森概要…………… 082
施設概要・利用案内	建物概要・設備概要…………… 083 部門別床面積・平面図…………… 084 利用案内…………… 085
関連会議・法規	公益財団法人うつのみや文化創造財団理事会…………… 086 公益財団法人うつのみや文化創造財団評議員会…………… 087 宇都宮美術館協議会…………… 088 うつのみや文化の森協議会…………… 089 宇都宮美術館条例…………… 090 宇都美術館条例施行規則…………… 092 宇都宮美術館協議会要領…………… 094 うつのみや文化の森協議会要領…………… 094 宇都宮市美術品等収集基金条例…………… 095 宇都宮美術館美術作品等収集評価委員会設置要領…………… 095 宇都宮市公園条例(抜粋)…………… 096 宇都宮市公園条例施行規則(抜粋)…………… 097

令和4年度コレクション展

令和5年2月10日(金)～4月2日(日) 44日間

同年開催の全館コレクション展「これらの時間についての夢」が当館の主要作品を紹介する展示であったことを踏まえ、ここで紹介しきれなかった作品を中心に、コレクション・ハイライトとは異なる視点から作品を紹介しました。3章それぞれにテーマを設け、鑑賞の切り口としました。

I. 合縁奇縁

作品と鑑賞者の出会い・縁をテーマに、自分ではない誰かの気持ちを追体験させる作品をとり上げました。新しい世界を知ることに対する画家の素直な喜びを伝えるジョルジュ・ピゴー《日光 東照宮の祭り》や、画家の心象風景と解釈することもできる武藤玲子《心象》(No.16)、解説を拒むルネ・マグリット《大家族》など、心に何らかの情動を引き起こしうる作品を紹介しました。

II. 空間についての考察

展示室が時間や場所にとらわれない変幻自在な「空間」であることに注目し、空間に着目した作家による作品を紹介しました。特に空間・作品・身体の関係に着目した高木修《Untitled》については、楕円の構造を示すドローイングと、楕円にまつわる画家の言葉とともに展示し、その特徴である「身体のスケール」に対応していることを感じられる展示空間となりました。

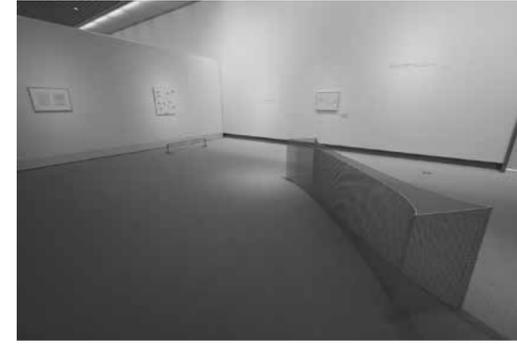
III. 日名子実三

企画展「陽成二展 混ざりあうカタチ」の関連展示として、陽が所属した「構造社」設立者のひとりである日名子実三の彫刻作品を紹介しました。日名子が得意とした女性裸体像の特徴である「体の捻り」がよく見えるよう、すべての作品が360度いずれの角度からも見える展示方法を採用しました。

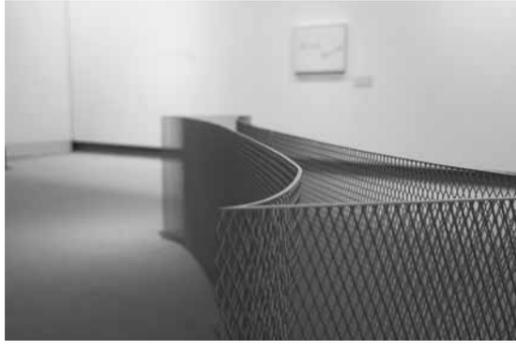
[担当] 黒木彩香



No.	作家名/デザイナー名	作品名	制作年	技法、素材	寸法(cm)
I. 合縁奇縁					
1	ジョルジュ・ピゴー	日光 東照宮の祭り	制作年不詳	水彩、墨、鉛筆、紙	22.2×36.7
2	ジョルジュ・ピゴー	カレンダー下絵「日本の郵便」	1908年[明治41年]頃	水彩、鉛筆、紙	16.3×23.1
3	ジョルジュ・ピゴー	自動車広告案 富士山を背景に疾走する赤い自動車	1906年[明治39年]頃	水彩、鉛筆、紙	25.5×36.2
4	杉浦非水	東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通	1927年[昭和2年]	オフセット、紙	92.0×62.2
5	パウル・クレー	尊大	1926年	水彩(一部吹き付け)、インク、厚紙の上に紙	21.1×21.1
6	ワシリー・カンディンスキー	鎮められたコントラスト	1941年	油彩、キャンヴァス	81.0×100.0
7	ルネ・マグリット	大家族	1963年	油彩、キャンヴァス	100.5×81.2



No.	作家名/デザイナー名	作品名	制作年	技法、素材	寸法 (cm)
8	松本哲男	三春滝桜-空即是色-	1998・2000年 [平成10・12年]	顔料、プラチナ箔、紙	218.5×600.0
9	トニー・スリエ	花 1	制作年不詳	油彩、印画紙上の写真	80.3×58.4
10	トニー・スリエ	花 2	制作年不詳	油彩、印画紙上の写真	80.0×58.8
11	トニー・スリエ	花 3	2003年	油彩、印画紙上の写真	58.5×80.0
12	マルク・ユルト	しみむし書家 XXIX	2004年	アクリル、顔料、ドライポイント、インク、画布の上にネパール紙と和紙	33.0×46.0
13	平澤熊一	石山	1968年 [昭和43年]	油彩、キャンヴァス	82.0×100.5
14	平澤熊一	駒生風景	1960年代 [昭和35～44年]	油彩、キャンヴァス	41.5×53.5
15	武藤玲子	心象	1996年 [平成8年]	油彩、キャンヴァス	130.6×160.7
16	武藤玲子	心象	2010年 [平成22年]	油彩、キャンヴァス	93.9×120.0
17	漆原英子	夜(Night)	1950年 [昭和25年]	油彩、キャンヴァス	53.0×65.0
18	ジャック・クローゼル	絵画 1	2005年	アクリル、布に裏打ちされたクラフト紙	160.0×60.0
19	ジャック・クローゼル	絵画 4	2005年	アクリル、布に裏打ちされたクラフト紙	160.0×60.0
20	荒井 孝	補陀落の舟(浄瑠璃寺)	2009年 [平成21年]	顔料(含むみじ転写)、金泥、銀泥、麻紙(屏風)	166.0×341.0
II. 空間についての考察					
21	小林正人	画家とモデル	1986年 [昭和61年]	油彩、チョーク、キャンヴァス	200.0×270.0
22	榎倉康二	Figure B-No.5	1980年 [昭和55年]	アクリル、綿布	197.0×395.7
23	李 禹煥	照応	2000年 [平成12年]	油彩、キャンヴァス	218.0×291.0
24	李 禹煥	空間とともに (1)	1992年 [平成4年]	リトグラフ、土佐手漉和紙	56.5×77.0*
25	李 禹煥	空間とともに (2)	1992年 [平成4年]	リトグラフ、土佐手漉和紙	77.0×56.5*
26	李 禹煥	空間とともに (3)	1992年 [平成4年]	リトグラフ、土佐手漉和紙	56.5×77.0*
27	孫 雅由	形態の消去又は白の間合い P-83-18	1983年 [昭和58年]	鉛筆、消しごむ、紙	75.0×105.0
28	孫 雅由	形態の消去又は白の間合い P-83-19	1983年 [昭和58年]	鉛筆、消しごむ、紙	75.0×105.0
29	高木 修	Untitled	2007年 [平成19年]	エキスパンドメタル、銀色の塗料	79.5×290×59.0
30	高木 修	Untitled コンセプト・ドローイング	2007年 [平成19年]	鉛筆、色鉛筆、コラージュ(コピー紙)、木炭紙	50.3×65.7
31	高松次郎	ゴルフボールの影	1967年 [昭和42年]	油彩、ゴルフボール、木パネル	81.0×65.0×8.0
32	高松次郎	無題(ゴルフボール、白い影)	1965～66年 [昭和40～41年]	鉛筆、方眼紙	30.0×20.8
33	高松次郎	無題(ゴルフボールの影)	1965～66年 [昭和40～41年]	鉛筆、方眼紙	30.0×20.8
34	藤松 博	紫煙層・面no.45	1966年 [昭和41年]	油煙、ロウソク、紙	15.2×28.0
35	藤松 博	壘 No.19	1968年 [昭和43年]	油彩、キャンヴァス	64.8×45.3
III. 日名子実三					
36	陽 咸二	女と猫	1929年 [昭和4年]	ブロンズ	98.0×99.0×9.0
37	陽 咸二	女と犬	1929年 [昭和4年]	ブロンズ	100.0×120.0×10.5



No.	作家名/デザイナー名	作品名	制作年	技法、素材	寸法 (cm)
38	日名子実三	女	1930年 [昭和5年]	ブロンズ	56.0×34.0×42.0
39	日名子実三	髪を梳る女	1927年 [昭和2年]	ブロンズ	42.0×24.0×17.0
40	日名子実三	腰掛けた女	1932年 [昭和7年]	ブロンズ	56.0×13.0×24.0
41	日名子実三	嫉妬 (部分)	1929年 [昭和4年]	石膏	30.0×28.0×32.0
42	日名子実三	誘惑 (部分)	1929年 [昭和4年]	石膏	52.0×38.0×35.0
43	日名子実三	「踊」習作	1927年 [昭和2年] 頃	大理石	25.0×26.0×20.0
44	日名子実三	フォーレンダム <small>の</small> 女	1930年 [昭和5年]	石膏	54.5×34.0×32.0
45	日名子実三	弓を持つ武人像 (《丘に立つ忠魂碑》部分)	1931年 [昭和6年]	石膏	73.0×26.0×26.7

*寸法は、イメージサイズを表記

企画展

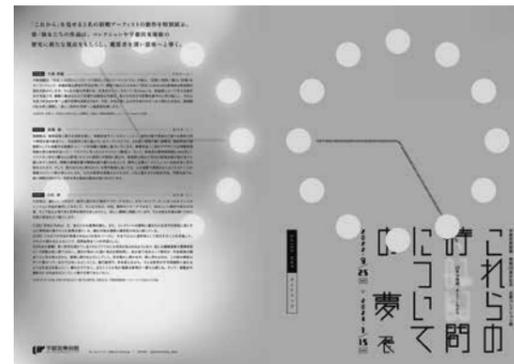
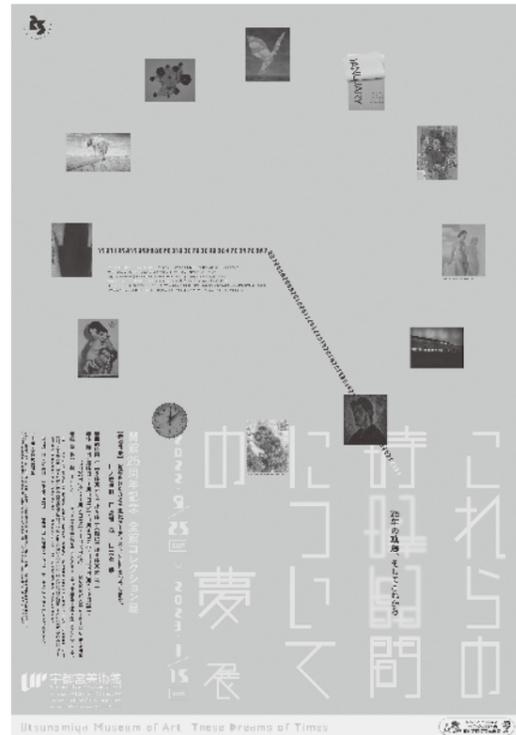
開館25周年記念 全館コレクション展
これらの時間についての夢展

令和4年9月25日(日)～令和5年1月15日(日) 87日間
展示室1～3、プロムナード・ギャラリー、中央ホール

開館25周年の記念事業として、1997年の開館から現在に至るまで、当館が収蔵した名品を「時間」というテーマで、多面的に紹介する展覧会を行いました。第1章では、これまでの企画展ポスターを掲示し準備室時代の資料などを展示し、第2章では、残された資料を基に1997年の第1回コレクション展の再現展示を行いました。第3章では「時間」という目に見えないものに色と形を与えたとと言える時計やカレンダー等のデザイン作品を紹介し、第4章では山並みなど不変的な光景を捉えた作品群が一堂に会しました。第5章では、世界が戦争の恐怖に包まれた1919-1943年の25年間に制作された日本とドイツの作品群を集め、当館のコレクションの代表的な作家であるマルク・シャガールの生涯を追う第6章へと続きます。第7章では、当館で撮影した佐藤時啓の写真作品などの現代美術作品を特集しました。

これらコレクション作品の展示に加え、特別展示として、現役アーティスト3名を招き、本展のための新作と近作を出品いただきました。大巻伸嗣は、岩絵具によって花々を描き出す作品『Echoes-Infinity』シリーズの新作を制作。外光が差し込む吹き抜けのホールに現れる新作は、美術館のある森と調和し、美しく詩的な考察へと鑑賞者を誘いました。力石咲は、編む行為によってつなぐというテーマを深化させ、糸をほどくパフォーマンスをも含む新作《自分でつって、自分でこわす》を発表しました。高橋銑は、美術作品の保存と活用のジレンマを鋭く提示し話題となった映像作品《二羽のウサギ》に加え、当館での下見から着想した写真の新作を手掛けました。

これらの構成によって、鑑賞者を美術作品・美術館・時間をめぐる深い思索へと導くことを目指しました。



【観覧者数】 10,235人

【観覧料】 一般 1000円(800円)
大学生・高校生 800円(640円)
中学生・小学生 600円(480円)

【主催】 宇都宮美術館

【出品点数】 236点

【関連事業】

詳細は「教育普及 展覧会関連事業」(p.058～060)をご覧ください。

●講演会

「コレクションを魅せる！」

テーマ展示の今日的な課題と可能性」

令和4年10月15日(土) 午後2時～午後4時

●担当学芸員による見どころガイド

担当学芸員による展覧会の作品解説を実施しました。

【印刷物】

ポスター B2判

チラシ A3判二つ折り

鑑賞ガイド A3判二つ折り

【担当】 小堀修司、黒木彩香



No.	作家名/デザイナー名	作品名	制作年	技法、素材	寸法(cm)	展示期間
第1章 企画展ポスター年譜						
		【参考資料】宇都宮美術館 準備室時代の資料 スクラップブック他	1995～1997年	印刷ほか	—	
第2章 再現展示 1997年第1回コレクション展						
1	荒井 孝	坐す少年	1978年	紙本着色	208.0×164.0	
2	松本哲男	地から宙(グランド・キャニオン)	1993年	紙本着色	222.0×800.0	
3	岩崎 鐸	壁の中の天使たちC	1974年	顔料、モルタル、紙	117.0×91.0	
4	米陀 寛	風	1988年	紙本着色	174.0×209.5	
5	島多訥郎	海と溶け合う太陽	1969年	紙本着色	211.0×149.0	
6	ジョルジュ・ビゴー	《熱海の海岸》あるいは《熱海にて、日本の漁師たち》	1888年頃	油彩、キャンヴァス	72.9×162.1	
7	小杉放菴	東照宮図	1900年	水彩、紙	32.2×49.0	
8	五百城文哉	日光東照宮図	1900年頃	水彩、紙	54.0×36.9	
9	梶原貫五	午睡	1914年	油彩、キャンヴァス	60.6×72.8	
10	真道黎明	踊る女	1922年	顔料、絹	42.8×41.0	
11	恩地孝四郎	自画像	1919年	油彩、キャンヴァス	53.0×45.5	
12	横山潤之助	風景	1924年頃	油彩、板	23.1×32.5	
13	国吉康雄	仔牛は行きたくない	1922年	油彩、キャンヴァス	51.8×41.8	
14	横山潤之助	妹 淑子の像	1924年頃	油彩、板	32.0×23.2	
15	新海覚雄	横たわる裸婦	1926年	油彩、キャンヴァス	61.0×91.2	
16	里見勝蔵	裸女	1927年	油彩、キャンヴァス	60.6×79.9	
17	高島達四郎	少年	1928年	油彩、キャンヴァス	91.2×61.0	
18	上野山清貢	ヴァン・マリアとその息子	1925年	油彩、キャンヴァス	116.5×91.0	
19	秦 テルヲ	無題	1917年	顔料、キャンヴァス	45.7×53.6	
20	吉原治良	犬と雁	1931年	油彩、キャンヴァス	40.5×31.3	
21	海老原喜之助	雪	1930年頃	油彩、キャンヴァス	65.0×80.2	
22	長谷川利行	上野廣小路附近	1936年	油彩、キャンヴァス	31.5×41.2	
23	松本竣介	街	1940年	油彩、板	53.2×72.5	
24	鶴岡政男	魚	1948年	油彩、キャンヴァス	53.4×45.8	
25	海老原喜之助	十字架から降ろされるキリスト	1950年頃	油彩、キャンヴァス	50.0×60.7	
26	磯辺行久	WORK 62-54	1962年	大理石粉、特殊メディウム、油彩、クレヨン、シール、金粉、板	181.5×181.5×4.5	
27	元永定正	作品(61-08)	1961年	油彩、キャンヴァス	183.3×183.5	
28	村井正誠	モードの男	1976年	油彩、キャンヴァス	162.3×130.7	
29	猪熊弦一郎	City Planning (A)	1964年	油彩、キャンヴァス	127.5×102.0	



No.	作家名/デザイナー名	作品名	制作年	技法、素材	寸法(cm)	展示期間
30	辰野登恵子	Untitled 93-20	1993年	油彩、キャンヴァス	258.4×194.0	
31	難波田龍起	わが生の記録1	1993年	油彩、キャンヴァス	192.0×390.0	
32	ルネ・マグリット	夢	1945年	油彩、キャンヴァス	83.0×69.2	
33	ルネ・マグリット	大家族	1963	油彩、キャンヴァス	100.5×81.2	
34	ラウル・デュフィ	船、鳥、泳ぐ人々	1925	油彩、キャンヴァス	28.0×40.0	
35	ラウル・デュフィ	ピエール・ジェスマール氏の肖像	1938	油彩、キャンヴァス	115.8×89.0	
36	ラウル・デュフィ	ティンパニー奏者とオーケストラ	1946	油彩、キャンヴァス	33.2×41.2	
37	マルク・シャガール	静物	1911~1912	油彩、キャンヴァス	65.9×82.0	
38	パウル・クレー	都市の境界	1926	水彩、厚紙の上に紙	49.5×65.2	
39	パウル・クレー	三人のアラビア人	1915	水彩、厚紙の上に紙	24.3×32.0	
40	パウル・クレー	舞台稽古	1925	水彩、インク、厚紙の上に紙	48.8×31.2	
41	ワシリー・カンディンスキー	三つの星	1942	油彩、カードボード	48.2×34.7	
42	ワシリー・カンディンスキー	浮遊	1927	油彩、カードボード	45.9×54.0	
43	ワシリー・カンディンスキー	横切る赤	1931	ミクストメディア、カードボード	69.4×79.2	
44	ヘルベルト・バイヤー	展覧会カタログ『ワイマール国立 Bauhaus 1919-1923』	1923	リトグラフ、紙	37.6×19.1	
45	リオネル・ファインINGER	ゲルメローダ (版画集『Bauhaus・マイスター版画作品集』)	1923	木版、紙	33.0×24.8	
46	ワシリー・カンディンスキー	楽しき飛翔 (版画集『Bauhaus・マイスター版画作品集』)	1923	リトグラフ、紙	23.8×19.4	
47	オスカー・シュレンマー	脚を組んだ抽象的人像 (版画集『Bauhaus・マイスター版画作品集』)	1923	エッチング、紙	31.6×23.9	
48	クルト・シュミット	ポスター原画『Bauhaus劇場』	1924	水彩、インク、鉛筆、紙	30.5×45.0	
49	エル・リシツキー	赤き楔で白を撃て	1919	リトグラフ、紙	50.0×61.0	
50	エル・リシツキー	ソヴィエト社会主義共和国連邦——ロシア美術展	1929	リトグラフ、インタリオ(グラビア)、紙	103.0×90.0	
51	アレクサンドル・ロトチェンコ	ドゥプロリョート社:あなたの名前は当社の株主名簿に載っていますか?	1923	リトグラフ、紙	107.0×69.0	
52	カジミール・マレーヴィチ	衣装エスキース	1923頃	水彩、鉛筆、紙	33.3×26.0	
53	フリッツ・ヘルムート・エームケ	ドイツ工作連盟展:手工芸、産業・商業美術、建築 於ケルン、1914年5月~10月	1914	リトグラフ、紙	89.2×64.1	
54	ペーター・ペーレンス	ドイツ工作連盟展:手工芸、産業・商業美術、建築 於ケルン	1914	リトグラフ、紙	89.7×63.8	
55	ペーター・ペーレンス	電気ケトル	1908	真鍮、鍍目仕上げ、ニッケル・メッキ塗装、揉革	21.5×21.0×16.0	
56	ヴィルヘルム・ヴァーゲンフェルト	テーブル・ランプ MT9 ME1(原型)	1924	真鍮、スティール、ニッケル・メッキ塗装、ガラス、布製紐、コード、木製つまみ、ベークライト製プラグ	39.0×17.6	
57	エヴァ・シュトリッカー=ザイゼル	スープ鉢	1930頃	妬器	21.0×30.5×24.6	
58	ヘリット・トーマス・リートフェルト	アームチェア「赤と青の椅子」	1918	ブナ、ペンキ塗装、木釘、金釘	86.8×65.9×82.0	
59	A.M.カッサンドル	食欲を拓くキンキナ(食前酒):ポナール・ゲンティアヌ・キナ	1933	リトグラフ、紙	311.0×232.0	
60	シャルル・ルーボ	現代装飾美術・産業工芸国際博覧会(パリ)	1925	リトグラフ、紙	120.0×78.0	前期
61	アルフォンス・ミュシャ	ジョブの煙草用巻紙	1898	リトグラフ、紙	153.1×101.1	後期



No.	作家名/デザイナー名	作品名	制作年	技法、素材	寸法(cm)	展示期間
62	アント・カルト	ベルギー独立100周年:エノー州へようこそ ベルギー国有鉄道	1930	リトグラフ、紙	105.0×75.0	
63	カレル・メース	1939年ニューヨーク万国博覧会ベルギー館	1938	リトグラフ、紙	99.0×62.0	前期
64	ミロ・マルティネ	ベルギー国立工場製の国産自動車販売: ファン・ハウデヘム社(ブリュージュ、ノール・デュ・サブロン街70番地、電話344番)	1931	リトグラフ、紙	120.0×78.0	後期
65	ジェイムズ・フィットン	混雑緩和のために、移動は必要な時だけにしましょう:イギリス国有バス会社	1945	リトグラフ、紙	76.0×51.0	
66	J.A.デュブイシュ	ヴィッテル・ソーダ:理想の飲料	1932	リトグラフ、紙	80.0×60.0	
67	ルツィアン・ベルンハルト	最高級液体金属研磨剤ロドール	1910頃	リトグラフ、紙	69.0×47.4	
68	ユリウス・クリンガー	ハノーヴァー・ゴム製造エクセルシオール社のゴム踵で行くは楽し	1912	リトグラフ、紙	70.0×47.0	
69	ウォルター・ドーウィン・ティエグ	カメラ「プロウニー・ホークアイ」	1949	ベークライト、スチール、ガラス	11.4×11.4×10.2	
70	バー・ベル社	バーベル形カクテル・シェーカー(スタンド付き)	1933	ステンレス・スチール、クローム・メッキ塗装	17.8×27.9×7.6	
71	ザ・ハウス・フォー・メン	アフター・シェーヴ・ローション・ボトル「HISノースウッズ」(茶・金)	1946	ガラス、ベークライト	各16.5×8.9×3.8	
第3章 時間に色と形を、月と太陽						
72	ベーター・ペーレンス	電気時計「シンクロン」	1907~1908	真鍮、板金、ガラス	11.3×26.0	
73	サイモン・デ・ヴォルチア	ケース入り懐中時計	1934頃	金属、ベークライト	1.9×7.6	
74	ケム・ウェーバー	卓上電気時計	1934	ブロンズ、ベークライト	8.9×20.3×8.9	
75	マックス・ビル	キッチン時計(タイマー付き)	1951	陶器、施釉、ガラス、合成樹脂、金属	25.5×17.0×5.5	
76	島多訥郎	月雪の山	1953	顔料、和紙	166.8×213.0	
77	藤松 博	紅蓮の月	1966~1970	油彩、キャンヴァス	60.5×45.7	
78	高橋由一	中洲月夜の図	1878	油彩、キャンヴァス	51.0×114.8	
79	藤森静雄	太陽(『月映』II・III・V・VI・VII号(合本))	1915	木版、紙	26.7×20.5	
80	恩地孝四郎	「抒情」五種 1 太陽額に照る(『月映』II・III・V・VI・VII号(合本))	1915	木版、紙	26.7×20.5	
81	谷中安規	塔	1936	木版、紙	17.6×24.8	前期
82	平山郁夫	月明の砂漠	2002	リトグラフ、アルシュ紙	43.5×60.5	後期
83	谷中安規	射手	1933	木版、紙	16.2×10.9	前期
84	東山魁夷	習作/二つの月	2004	リトグラフ、アルシュ紙	49.2×40.7	後期
85	稲垣知雄	落日	1924	木版、紙	14.8×8.6	前期
86	谷中安規	絵暦	1939	木版、紙	22.2×10.9	後期
87	松本哲男	文明・アステカ・暦	2006	顔料、紙	109.8×109.8	
88	亀倉雄策	株式会社細川活版所1954年カレンダー 6月~12月	1954	オフセット、紙	51.0×36.5	
89	亀倉雄策	株式会社文祥堂1956年カレンダー	1956	オフセット、紙	51.0×36.5	
90	亀倉雄策	日本光学株式会社1959年カレンダー	1959	オフセット、紙	51.0×36.5	
91	勝井三雄	【資料】 YPP 10 Colors Calendar 2015	2015	オフセット、紙	86.4×59.4	
92	勝井三雄	【資料】 YPP 10 Colors Calendar 2019	2019	オフセット、紙	86.4×59.4	



No.	作家名/デザイナー名	作品名	制作年	技法、素材	寸法(cm)	展示期間
93	勝井三雄	【資料】 YPP 10 Colors Calender 2020	2020	オフセット、紙	86.4×59.4	
94		Roll 12	2012	オフセット、紙	47.0×30.0	
95		Roll 12	2013	オフセット、紙	47.0×30.0	
96		Roll 12	2014	オフセット、紙	51.0×30.0	
97		Roll 12	2015	オフセット、紙	51.0×30.0	
98		Roll 12	2016	オフセット、紙	51.0×30.0	
99		時間の標本#001	2017	ミクストメディア	直径140.0×97.0	
第4章 不変へのまなざし						
100	灰野文一郎	日光 霧降り高原	1957	油彩、キャンヴァス	128.6×95.8	
101	松本哲男	浄韻・日光	1988	顔料、プラチナ箔、紙	120.0×120.0	前期
102	灰野文一郎	八月の那須山	1952	油彩、キャンヴァス	91.7×117.5	後期
103	灰野文一郎	大谷	1940	油彩、キャンヴァス	97.5×162.5	
104	清水登之	丘に憩う	1933	油彩、キャンヴァス	180.0×300.0	
105	篠原弥夫	万里の長城(『刀』第1期第9巻)	1930	木版、紙	27.3×20.2	
106	岩田信義	古城(『刀』第1期第2巻)	1928	木版、紙	27.4×20.1	
107	ジョルジュ・ピゴー	奥日光 中禅寺から湯元への道 男体山の眺め	1886	水彩、鉛筆、紙	19.8×20.0	
108	小林松夫	奥州街道(『村の版画』通巻第16号)	1932	木版、紙	19.2×29.5	
109	池田信吾	二荒山(『村の版画』通巻第12号)	1932	木版、紙	11.4×12.2	
110	齋藤富蔵	牛と蝶	1976	グワッシュ、キャンヴァス	100.0×164.5	
111 135	杉浦非水	『非水百花譜』より25点 おほまつよひぐさ(大待宵草)、じやかうれんりさう(麝香連理草)、 ほけ(木瓜)、しやが(著我)、ほととぎす(油点草)、 れんげつつじ(蓮華躑躅)、ぼたん(牡丹)、きいちご(木苺)、 つゆくさ(露草)、まつよひぐさ(待宵草)、あぢさみ(紫陽花)、 もみぢあふい(紅蜀葵)、がんび(雁絛)、ほたるぶくろ(蛭囊)、 からたち(栲栳)、やいとばな(灸花)、やまゆり(山百合)、 むらさきつゆくさ(紫露草)、ひがんばな(彼岸花)、やまぶき(山吹)、 すひがづら(忍冬)、ききやう(桔梗)、らしやうもんかづら(羅生門葛)、 はまなでしこ(濱撫子)、もくせい(木犀)	1920~1922	木版、印刷、紙	47.0×32.0	前期
136 160	杉浦非水	『非水百花譜』より25点 八重櫻(やへざくら)、撫子(なでしこ)、葱(ねぎ)、木蓮(もくれん)、 瑞香(ぢんちやうげ)、赤爪草(あかつめぐさ)、小書顔(こひるがほ)、 雛粟(ひなげし)、寶鐸草(はうちやくさう)、未央柳(びやうやなぎ)、 野罌粟(のげし)、釣鐘人參(つりかねにんじん)、錨草(いかりさう)、 華鬘草(けまんさう)、菘草(やぶくわんざう)、草夾竹桃(くさきょうちくたう)、 鐵砲百合(てっぽうゆり)、野葡萄(のぶだう)、朝顔(あさがほ)、 蓮翹(れんげう)、珠數玉(じゆすだま)、鹿子百合(かのこゆり)、 梅(うめ)、凌霄葉蓮(のうぜんはれん)、仙人草(せんになさう)	1920~1922	木版、印刷、紙	47.0×32.0	後期
161	丑久保健一	大谷考一指をみつめる	2000	木(檜)、ウレタン樹脂、墨汁、木工ボンド	74.0×55.0×42.0	
第5章 シャガール わが生涯 もの言わずして、語る人						
162	マルク・シャガール	ランプのある静物	1910~11	油彩、キャンヴァス	80.5×45.0	



No.	作家名/デザイナー名	作品名	制作年	技法、素材	寸法(cm)	展示期間
163	マルク・シャガール	青い恋人たち	1948~1953	油彩、キャンヴァス	76.0×60.0	
164	マルク・シャガール	緑、赤、青の恋人たち(街の上で)	1983	油彩、キャンヴァス	92.0×73.0	
165 174	マルク・シャガール	銅版画集『わが生涯』より10点 ヴィテプスクの家、祖父の家、年老いたユダヤ人、門の前で、ベンチの上の恋人たち、 結婚の宴、自画像、イーゼルの前で、母の墓で、父の墓	1923	エッチング、紙	27.7×21.5	
175 186	マルク・シャガール	リープイリュストレ ルイ・アラゴン著『もの言わずして語る人』より12点 pp.67、72、75、79、83、87、95、101、105、109、115、121	1975~1976	エッチング、アクアチント、紙	39.5×29.5	
第6章 1919 - 1943年 日本とドイツ						
187	上坂 雅	復興の銀座街 (『HANGA』第2輯)	1924	木版、紙	24.2×19.3	
188	篠崎喜一郎	電柱 (『村の版画』通巻第9号)	1929	木版、紙	19.8×12.5	
189	川上澄生	浅草公園カジノフォーリー	1930	木版、紙	17.8×23.9	
190	川上澄生	デパートの内部	1930	木版、紙	17.8×24.1	
191	杉浦非水	東洋唯一の地下鐵道 上野浅草間開通	1927	オフセット、紙	92.0×62.2	
192	杉浦非水	第二次産業組合擴充三ヶ年計畫	1937	印刷、紙	78.0×53.8	
193	大久保 一	奉天忠靈塔にて愛国号を迎へる (『新版画』第4号)	1932	木版、紙	29.4×22.3	
194	武藤六郎	銀座に雨が降る(東京夜曲C)	1932	木版、紙	29.4×22.3	
195	小泉癸己男	浅草の裏路 (『版画』第1巻第1号)	1921	木版、紙	30.2×22.8	
196	小泉癸己男	浅草の裏路 (『版画』第1巻第1号)	1921	木版、紙	30.2×22.8	
197	多田北鳥	東京丸の内 富国徴兵保険相互会社	1930年代後半~ 1940年代頃	オフセット、紙	91.0×61.0	
198	里見宗次	爆撃してくる国を踏みつけよう	1944	印刷、紙	78.2×53	
199	里見宗次	2486年 12月 8日	1943	印刷、紙	78.5×53.2	
200	義部隊宣伝部	共同ノ前ニハ敵ナシ	1940年代	印刷、紙	54.7×39.5	
201	ルチア・モホイ	バウハウス・デッサウ校舎(北西外観)	1926	ゼラチンシルバークラフト	9.1×14	前期
202	ルチア・モホイ	バウハウス・デッサウ校舎(北東外観)	1926	ゼラチンシルバークラフト	9.1×14	後期
203	パウル・クレー ラースロー・モホイ=ナジ	『バウハウス叢書』 第2巻『教育スケッチブック』	1925	印刷、紙	23.7×18.8	前期
204	アドルフ・マイヤー ラースロー・モホイ=ナジ	『バウハウス叢書』 第3巻『バウハウスの実験住宅』	1925	印刷、紙	23.7×18.8	後期
205	ヴァルター・グロピウス ファルカス・モルナール ラースロー・モホイ=ナジ	『バウハウス叢書』 第1巻『国際建築』	1925	印刷、紙	23.1×18.3	前期
206	オスカー・シュレンマー ラースロー・モホイ=ナジ	『バウハウス叢書』 第4巻『バウハウスの舞台』	1925	印刷、紙	23.0×18.3	後期
207	ヨハン・ニーゲマン	招待状 バウハウス・カーニバル『金属祭』	1929	印刷、紙	10.3×14.9	

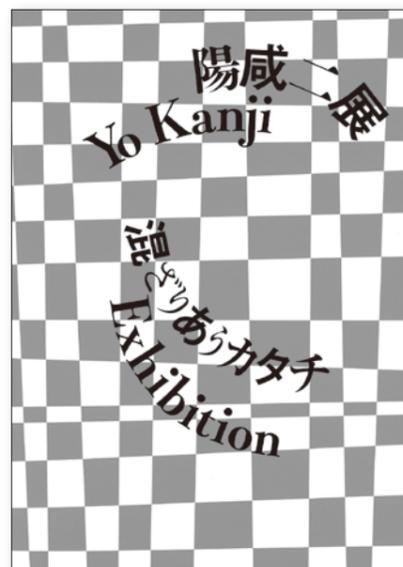
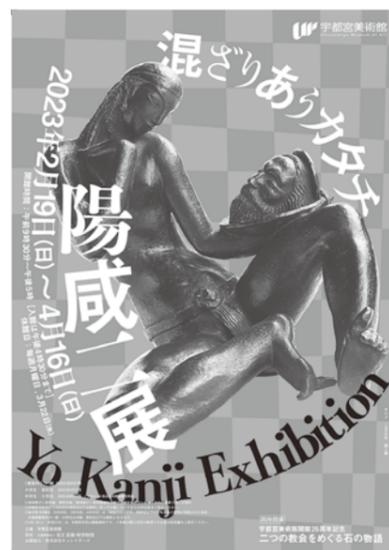
No.	作家名/デザイナー名	作品名	制作年	技法、素材	寸法(cm)	展示期間
208	マルギット・テリー＝アドラー ブルーノ・アドラー ヨハネス・イッテン	『ユートピア:現実のドキュメント』	1921	印刷、紙	32.8×24.5	
209	ヘルベルト・バイヤー	パウハウス(デッサウ)のカリキュラム	1925	凸版、紙	29.7×21.0	
210	パウル・クレー	絵葉書『パウハウス展(ワイマール)』	1923	リトグラフ、紙	15.0×10.5	
211	ワシリー・カンディンスキー	絵葉書『パウハウス展(ワイマール)』	1923	リトグラフ、紙	15.0×10.5	
212	パウル・クレー	尊大	1926	水彩(一部吹き付け)、インク、厚紙の上に紙	21.1×21.1	
213	パウル・クレー	上昇	1925	水彩(吹き付け)、油彩転写、厚紙の上に紙	44.0×29.5	
214	オスカー・シュレンマー	明るい群像	1928	水彩、鉛筆、紙	54.0×42.0	
215	ワシリー・カンディンスキー	小さな世界 I (版画集「小さな世界」)	1922	リトグラフ、紙	35.5×28.0	
216	ワシリー・カンディンスキー	灰、緑、茶	1924	水彩、インク、紙	34.1×24.5	
217	マリアンネ・ブランド	ティー・メーカー(保温台付き)	1928～1930	真鍮、黒檀	19.5×22.5×15.5	
218	ギュラ・バップ	フロア・ランプ	1923	鉄、スチール、ニッケル・メッキ塗装、ガラス	168.0×40.0	
219	マルセル・ブロイヤー	クラブ・チェア 第二版	1925～1926	スチール・パイプ、ニッケル・メッキ塗装、 アイゼンガルン(布)	74.3×76.7×68.0	
220	ルートヴィヒ・ミース・ ファン・デル・ローエ	チェア MR20	1927	スチール・パイプ、クローム・メッキ塗装、藤	84.0×56.0×81.0	
221	ラースロー・モホイ＝ナジ	ニュー・パウハウス 学校案内	1937	印刷、紙	33.8×25.1	
第7章 白昼夢をさまよう 青木野枝、佐藤時啓、やなぎみわ						
222	佐藤時啓	光－呼吸(Photo－Respiration) Utsunomiya #1	2001	ゼラチンシルバープリント	96.0×120.0	
223	佐藤時啓	光－呼吸(Photo－Respiration) Utsunomiya #3	2001	ゼラチンシルバープリント	96.0×120.0	
224	佐藤時啓	光－呼吸(Photo－Respiration) Utsunomiya #4	2001	ゼラチンシルバープリント	96.0×120.0	
225	佐藤時啓	光－呼吸(Photo-Respiration) Nikko #1, #3	2001	ゼラチンシルバープリント	96.0×120.0	
226	佐藤時啓	光－呼吸(Photo-Respiration) Nikko #3	2001	ゼラチンシルバープリント	96.0×120.0	
227	青木野枝	Untitled (NA97-1)	1997	スチール	300.0×140.0×140.0	
228	やなぎみわ	夜半の寝覚め	1999	タイプCプリント、アクリル密着加工	115.0×1215.0	
特別展示						
229	大巻伸嗣	Echoes Infinity	2022	フェルト、カーペット、岩絵の具、新岩絵の具、LED照明	空間全体	
230	大巻伸嗣	Glass of Echoes No.1-22	2022	岩絵の具、新岩絵の具、シャンパングラス	各 直径7.0×21.0	
231	高橋 銃	二羽のウサギ	2020	2chビデオ	(9分33秒)	
232	高橋 銃	不感のしるべ #2019	2022	インクジェットプリント	14.0×21.0	
233	高橋 銃	不感のしるべ #2022	2022	インクジェットプリント	14.0×21.0	
234	高橋 銃	Cast and Rot No.41-1 "どちらも腐りゆくものである"	2022	ニンジン、Hi-mic1080、リグロイン、石灰硫黄合剤、 木、真鍮	30.0×17.0×5.0	
235	高橋 銃	Cast and Rot No.41-2 "どちらも腐りゆくものである"	2022	ベリリウム銅、Hi-mic1080、リグロイン、石灰硫黄合剤、 木、真鍮	30.0×17.0×5.0	
236	カ石 咲	自分でつくって、自分でこわす	2022	染料、工業糸、水彩絵具、鉛筆、紙	可変	

* 展示期間について、「前期」は令和4年9月25日(日)～11月13日(日)、「後期」は11月19日(土)～令和5年1月15日(日)、
記載のないものは全期間展示

陽成二展 混ざりあうカタチ

令和5年2月19日(日)～4月16日(日) 48日間
展示室3

本展は、1920年代から急激に勃興した都市文化の気分を色濃く反映した彫刻を多く手がけた陽成二(1898-1935)の全貌を明らかにしました。陽作品の特徴の一つは、ひとりの作家の手によるものとは思えないほどの多様な作風です。絵画、版画、工芸、表紙絵など手がけた分野も幅広く、様式も具象や抽象、簡素なタッチから細密描写にいたるまで多様で、モチーフやテーマも和洋を問わず人物、風景、説話などさまざまです。また陽は芸術家以外にもさまざまなジャンルの人々と交遊を結びました。とくに注目すべきは、趣味人とのネットワークです。陽は日本舞踊、生け花、釣りなど多種多様な趣味に興じ、蒐集趣味においては、三田平凡寺が立ちあげた「我楽他宗」(1919年結成)に参加しました。寺号として「横臥山夜歛寺」を名乗り、みずからの蒐集対象を「支那趣味に関する文物一切」と定め、他のメンバーとの交流を通じてのコレクションの充実につとめました。このような趣味世界での逍遥は、彼の作品にも大きく影響を及ぼしました。本展は5つのキーワードから、陽成二の独自の芸術世界を明らかにしました。



【観覧者数】 5,651人
【観覧料】 一般 1000円(800円)
大学生・高校生 800円(640円)
中学生・小学生 600円(480円)
【主催】 宇都宮美術館
【助成】 公益財団法人花王芸術・科学財団
【企画協力】 株式会社キュレーターズ
【出品点数】 240点
【関連事業】
詳細は「教育普及 展覧会関連事業」(p.058～060)をご覧ください。

●講演会「陽成二の「いき」の構造」
令和5年3月5日(日)午後2時～午後4時
●ワークショップ「はりこでようかんじ」
令和5年3月18日(土)午後2時～午後4時
令和5年3月19日(日)
午前11時～午後1時、午後2時～午後4時
●見どころガイド
担当学芸員による展覧会の作品解説を実施しました。
令和5年3月11日(土)、3月25日(土)、4月8日(土)
午後2時～午後3時
【印刷物】
ポスター B2判
チラシ A4判
図録 25.8×18.3cm
【担当】 前村文博



No.	作家名(陽威二は省略)/作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	所蔵先
1章 きわだつ					
1-01	[自画像]	1916-17年頃	木炭、コンテ、紙	63×48	個人蔵
1-02	[着物の女]	1916年	木炭、紙	63.3×47.5	個人蔵
1-03	[微笑む女]	1916-17年頃	木炭、紙	62.3×47.3	個人蔵
1-04	[肩を出す女]	1916-17年頃	木炭、紙	63.4×48	個人蔵
1-05	[横たわる女]	1917年	木炭、紙	47.5×63	個人蔵
1-06	[髭の男]	1916-17年頃	木炭、紙	63.1×47.6	個人蔵
1-07	[右膝をつく男]	1916-17年頃	木炭、紙	63.3×47.7	個人蔵
1-08	自刻像	1923年	石膏着色	25×18×13	宇都宮美術館
1-09	「曠遠」下図	1920年	インク、紙	26×36.1	個人蔵
1-10	[手]	1923年	インク、紙	12×16.3	個人蔵
1-11	[背をむける女]	1923年頃	インク、紙	16.3×12	個人蔵
1-12	男	1927年	木炭、パステル、水彩、紙	28.7×24.5	梅野家蔵(東御市梅野記念絵画館寄託)
1-13	地震	1924年	水彩、鉛筆、紙	30×22.5	個人蔵
1-14	[神女像]	1923年	石膏着色	33×14×14	宇都宮美術館
1-15	呼風	1923年	石膏着色	19×22.5×17	宇都宮美術館
1-16	仔猫	1923年	石膏着色	6×14×8	宇都宮美術館
1-17	うさぎ	1921年	ブロンズ	9×27×13	美術研究 藝林
1-18	[女]	制作年不明	石膏	5×14×5.5	宇都宮美術館
1-19	[女]	1922年	インク、紙	14×9	個人蔵
1-20	恋知る頃	1920年	水彩、インク、紙	18.3×26.2	個人蔵
1-21	当世美人かがみ	1920年	水彩、墨、紙	39×28	宇都宮美術館
1-22	「落花」習作	制作年不明	水彩、インク、紙	26×37.5	個人蔵
1-23	「恋娘昔八丈」下図	制作年不明	墨、インク、紙	38×28	個人蔵
1-24	[二人(野辺)]	制作年不明	インク、紙	28×19	個人蔵
1-25	[二人(森)]	1921年	墨、インク、紙	28×19	個人蔵
1-26	[抱擁する男女]	1920年	水彩、インク、紙	32.4×24.1	個人蔵
1-27	燈下抱擁像	1924年	ブロンズ	167.5×63.5×52	東京国立近代美術館
1-28	燈下抱擁像コンポジション	1924年	ブロンズ	32×19.5×15	個人蔵
1-29	[抱擁する男女]	1924年	鉛筆、紙	28×36.5	個人蔵
1-30	[抱擁する男女]	1924年	水彩、鉛筆、紙	28×36.5	個人蔵
1-31	「二人」下図 (「スケッチブック」所収)	1924年	水彩、ニス、鉛筆、紙	28.2×24.1	宇都宮美術館



No.	作家名(陽威二は省略)/作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	所蔵先
参考出品	衛生博覧会正面図	1920年	水彩、墨、紙	15×22.5	宇都宮美術館
2章 であう					
2-01	愛	1927年	ブロンズ	61×38×32	東京国立近代美術館
2-02	無邪気	1927年	石膏着色	15×21.5×10.5	宇都宮美術館
2-03	[母子図]	1920年代	水彩、鉛筆、紙	28×36.4	個人蔵
2-04	[母子図]	1920年代	墨、紙	24×33	個人蔵
2-05	[母子図]	1920年代	鉛筆、紙	24.2×33	個人蔵
2-06	[横臥する母子図]	1920年代	水彩、墨、紙	23.5×29	宇都宮美術館
2-07	[母子図]	1920年代	水彩、鉛筆、紙	31×21.5	宇都宮美術館
2-08	降誕の釈迦	1929年	ブロンズ	130×90×80	宇都宮美術館
2-09	降誕の釈迦コンポジション	1928年	石膏	21.5×11×11	宇都宮美術館
2-10	降誕の釈迦コンポジション	1928年	石膏着色	29×15.5×8	宇都宮美術館
2-11	釈迦	1928年	石膏着色	18×10×11	宇都宮美術館
2-12	或る休職将軍の顔	1929年	ブロンズ	43.5×20×24.5	東京国立近代美術館
2-13	談	1924-30年頃	水彩、墨、紙	26×20.5	宇都宮美術館
2-14	[画家とモデル]	1920年代	パステル、墨、紙	31.7×24	個人蔵
2-15	[馬上舞踊]	1927年	水彩、鉛筆、紙	36.4×28.1	個人蔵
2-16	女	1927年	水彩、墨、紙	22×29.3	個人蔵
2-17	[後ろを向く女]	1926-27年頃	水彩、墨、紙	29.5×22.3	個人蔵
2-18	[キセルを持つ女]	1926年	水彩、墨、紙	29×22	個人蔵
2-19	[つるはしを持つ男]	1926年	水彩、鉛筆、紙	36×26.2	個人蔵
2-20	支那人の皿廻し	1928年	ブロンズ	20×21.5×10	個人蔵
2-21	異人香炉	1928年	ブロンズ	18×10×13	個人蔵
2-22	[異人渡来]下図	1927年	水彩、紙	38×27	宇都宮美術館
2-23	アラビアンナイト物語の一節 片目になった王子の話	1928年	石膏着色	22×21×10	宇都宮美術館
2-24	[スフィンクス]	1926年	水彩、鉛筆、紙	22.2×29.4	宇都宮美術館
2-25	[髭の男]	1924年	水彩、鉛筆、紙	22.7×31.4	個人蔵
2-26	文明の勝利	1927年	水彩、鉛筆、紙	27.8×36.2	個人蔵
2-27	[磔刑のキリスト]	1923年	水彩、墨、紙	26.7×20.8	個人蔵
2-28	追われたるアダマイブ	1920年代	インク、水彩、紙	26.5×18.3	個人蔵
2-29	二九二六年 印度の夏	1926年	インク、紙	29.4×19	個人蔵
2-30	パーハム・ヴィルヘルム・ナール(Perham Wilhelm Nahl)/タイフーン	1915年頃	銅版、紙	46.8×35.2	個人蔵



No.	作家名(陽成二は省略)/作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	所蔵先
参考出品	「アラビアンナイト物語の一節 片目になった王子の話」下図	1926年	水彩、鉛筆、紙	37×29	宇都宮美術館
3章 つなげる					
3-01	男女柱像	1928年	石膏着色	男：248×58×38.5 女：249×58×38.5	宇都宮美術館
3-02	女と犬	1929年	石膏	120×100×10.5	宇都宮美術館
3-03	女と猫	1929年	石膏	98×99×9	宇都宮美術館
3-04	総合試作コンポジション	1929年	石膏	11×44.5×15.5	宇都宮美術館
3-05	陽成二(設計)、齋藤素巖(製図)/第3回総合試作図面	1929年	青焼図面	78.3×54	個人蔵
3-06	扉	1930年	ブロンズ	33×47×0.5	個人蔵
3-07	優勝チーム	1930年	ブロンズ	30.5×51×42	東京国立近代美術館
3-08	サロメ	1928年	ブロンズ	27×27×26	個人蔵
3-09	コンポジション	1928年	ブロンズ	20×10×15.5	梅野家蔵(東御市梅野記念絵画館寄託)
3-10	臺仙人	1932年	ブロンズ	24×11×21	個人蔵
3-11	臺	1932年	石膏着色	7×20.5×14.5	宇都宮美術館
3-12	【靈獣】	制作年不明	陶	24×18×10	宇都宮美術館
3-13	鯨	1931年	石膏着色	35×18×23.5	宇都宮美術館
3-14	布袋	1932年	石膏着色	14×15×13	宇都宮美術館
3-15	布袋	制作年不明	石膏着色	21×22.5×20	宇都宮美術館
3-16	羊	1935年	ブロンズ	9.5×23×10.5	個人蔵
3-17	寿老人	制作年不明	石膏	11×22×17	宇都宮美術館
3-18	聖観世音	1928年	石膏着色	37×12.5×12.5	宇都宮美術館
3-19	籠中果物	1928年	蠟、水彩、紙	22×28	個人蔵
3-20	葡萄	1928年	蠟、水彩、紙	26.5×21	個人蔵
3-21	第3回構造社展ポスター付属レリーフ	1929年	エンボス、紙	22.4×31.1	宇都宮美術館
3-22	乳に戯る	1932年	石膏	98×113×9	宇都宮美術館
参考出品	【裸婦】	1927年	パステル、紙	27×25.5	宇都宮美術館
参考出品	「サロメ」下図	1928年頃	水彩、墨、紙	28.6×21.5	宇都宮美術館
4章 つどう					
4-01	三田平凡寺/【雪の庵】	制作年不明	絹本墨画淡彩	27×24.5	個人蔵
4-02	三田平凡寺/【鴉】	制作年不明	紙本墨画淡彩	27×24.5	個人蔵
4-03	三田平凡寺/【宝船図】	制作年不明	木版、紙	38×52.5	個人蔵
4-04	我楽他宗納札「陽成二/夜飲寺」	制作年不明	木版、紙	17.5×6.3	個人蔵
4-05	中林峯昇(息子山遊瀧寺)/支那の門神(尉運恭の像)	制作年不明	木版、紙	53.5×34	個人蔵

No.	作家名(陽威二は省略)／作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	所蔵先
4-06	作者不明／鴉天狗	制作年不明	嵯峨面	20×16×13	個人蔵
4-07	[骸骨図]	制作年不明	水彩、墨、紙	33×24.5	個人蔵
4-08	吉田永光(夢香山童楽寺)／はねさま雛	制作年不明	紙人形	10.5×7	個人蔵
4-09	「寒山拾得木魚」 〔北越山文珠寺 開山記念封筒帖〕所収)	1923年	墨、朱墨、紙	18.5×21.5 (本紙) 24×12 (封筒)	個人蔵
4-10	凧図案「福」 〔笑門山福來寺 什寶拝観芳名帖〕所収)	1927年	墨、朱墨、紙	16×11	個人蔵
4-11	三田平凡寺・喜代子夫人銀婚式箸袋 〔スクラップブック〕所収)	1925年	木版、紙	20.5×12.5	個人蔵
4-12	三田平凡寺・喜代子夫人銀婚式箸袋 版木	1925年	版木	23.6×19.5×1	宇都宮美術館
4-13	鶯娘	1924-30年頃	紙本着色	26.3×20.5	宇都宮美術館
4-14	藤娘	1924-30年頃	紙本着色	26.3×20	宇都宮美術館
4-15	藤娘	1924-30年頃	紙本着色	41×29	宇都宮美術館
4-16	和藤内	1924-30年頃	紙本着色	39×27.1	宇都宮美術館
4-17	鉢中金魚之図	1924-30年頃	紙本着色	25.2×20.3	宇都宮美術館
4-18	籠中果物之図	1924-30年頃	紙本着色	19.8×26	宇都宮美術館
4-19	[蔬果図]	1924-30年頃	水彩、墨、紙	42×60.5	個人蔵
4-20	花と実	1924-30年頃	紙本着色	花：19×17.8 実：26×20.5	宇都宮美術館
4-21	瓶中競嬋	1924-30年頃	紙本着色	26×20.5	宇都宮美術館
4-22	[群魚図]	1930-35年頃	墨、紙	21.9×27.2	個人蔵
4-23	朝顔	1924-30年頃	紙本着色	100×25.3	宇都宮美術館
4-24	朝顔押し花(宇治之誉)	1933年	押し花	18.2×27.5	個人蔵
4-25	朝顔押し花(紫雲之月)	1933年	押し花	18.3×27.2	個人蔵
4-26	[あじさい]	1924-30年頃	紙本淡彩	69.5×22.8	宇都宮美術館
4-27	[舞踊図(花柳寿二郎)] 〔スケッチブック〕所収)	1932年	色鉛筆、鉛筆、紙	18.5×13.8	宇都宮美術館
4-28	鶉舞踏メダル	1932年	ブロンズ	Φ17×0.3	個人蔵
4-29	燭台乃有る図	1924-30年頃	紙本着色	26.5×20.5	宇都宮美術館
4-30	机上静物	1924-30年頃	紙本着色	25.5×20	宇都宮美術館
4-31	薬缶と湯呑之図	1924-30年頃	紙本着色	25.5×21.2	宇都宮美術館
4-32	火	1924-30年頃	紙本着色	25.5×20.5	宇都宮美術館
4-33	狐之図	1924-30年頃	紙本着色	140×42	個人蔵
4-34	鐘馗	1921年	紙本着色	131×29.5	個人蔵
4-35	風神	1924-30年頃	紙本着色	106×51	個人蔵
4-36	臺仙人	1924-30年頃	紙本着色	28×22	個人蔵
4-37	[布袋]	1924-30年頃	紙本着色	38×41.5	宇都宮美術館
4-38	雷神 雲を作る之図	1924-30年頃	紙本着色	67.5×34	宇都宮美術館
4-39	[青龍]	1920年代	紙本着色	62×26.5	宇都宮美術館
4-40	[龍頭観音]	1924-35年頃	紙本墨画	98.5×30.5	宇都宮美術館
4-41	白衣観音	1924-35年頃	紙本墨画	68×23.7	宇都宮美術館
4-42	川蟬	1924-35年頃	絹本着色	34.5×36	宇都宮美術館
4-43	河村目呂二／〔二匹の猫〕	1920年代-30年代	紙本着色	131×32.5	宇都宮美術館
4-44	河村目呂二／〔緑福猫と郷土玩具〕	1920年代-30年代	紙本着色	129.5×36	宇都宮美術館

No.	作家名(陽威二は省略)／作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	所蔵先
4-45	河村目呂二／百猫図	1949年頃	紙本着色	130×63	河村目呂ニライブラリィ
4-46	河村目呂二宛葉書 (「スクラップブック」所収)	1927-35年頃	絵葉書	14×9	河村目呂ニライブラリィ
4-47	河村目呂二宛年賀葉書「亥」	1935年	絵葉書	14×9	河村目呂ニライブラリィ
4-48	河村目呂二宛年賀葉書「午」	1930年	絵葉書	14×9	河村目呂ニライブラリィ
4-49	我楽他宗納札 「河村目呂二／女弄児」 「河村すの子／猫快女」	制作年不明	木版、紙	各18×6.5	河村目呂ニライブラリィ
4-50	河村目呂二／縁福猫	1949年	陶に着色	19×10×10	河村目呂ニライブラリィ
4-51	河村目呂二／Money key猫	1924年	陶に着色	14×7×7.5	河村目呂ニライブラリィ
4-52	河村目呂二／目呂二人形「びんぼつ」	1917年	陶に着色	21×12×8	河村目呂ニライブラリィ
4-53	河村目呂二／目呂二人形[姿見]	1918年頃	木に着色	19×7×6.5	河村目呂ニライブラリィ
4-54	河村目呂二／目呂二人形「カメラ」	1921年	陶に着色	立像：20.5×6×9 座像：11×10×8.5	河村目呂ニライブラリィ
4-55	河村目呂二／目呂二人形「春の野」	1917年頃	陶に着色	座像：12×9×9 横臥像：8×15.5×7	河村目呂ニライブラリィ
参考出品	【裸婦】	1926年	紙本着色	22×30.5	宇都宮美術館
参考出品	三田平凡寺／【鴉】	制作年不明	紙本墨画	27.1×24	個人蔵
参考出品	趣味と平凡／25号、26号	1926年1月、6月	印刷物	各27×9.5	個人蔵
5章 ひろがる					
5-01	【女の頭部】	1923年	石膏	6×3.5×4.5	宇都宮美術館
5-02	【女の頭部】	1923年頃	石膏	5.5×4×4	宇都宮美術館
5-03	髪飾り	1920年代	紙	20.5×10×0.2	個人蔵
5-04	男女灰皿	1920年代	石膏着色	6×19×15	宇都宮美術館
5-05	文鎮「黒豹」	1920年代	石膏着色	4.7×14×3.8	宇都宮美術館
5-06	文鎮「兎」	1920年代	石膏着色	7×14×6.5	宇都宮美術館
5-07	文鎮「犬」	1925年	陶	6×13.5×9	宇都宮美術館
5-08	【兎】	1923年	石膏着色	5.5×10.5×3.5	宇都宮美術館
5-09	茶托	制作年不明	ブロンズ	Φ13×1.5	宇都宮美術館
5-10	香炉「雷神」	1930-35年頃	ブロンズ	8.5×13×12	個人蔵
5-11	スフィンクス インク壺	1927年	石膏着色	9×19×12.5	宇都宮美術館
5-12	小箱【動物図案】	1920年代	漆、紙	7×12×8	個人蔵
5-13	電気スタンド下図【裸婦】	1927年頃	水彩、鉛筆、紙	31.8×23.3	個人蔵
5-14	灰皿下図「人魚」	1929年	水彩、鉛筆、紙	28.9×26.3	個人蔵
5-15	猪	制作年不明	墨、紙	21×18	個人蔵
5-16	水牛	制作年不明	墨、紙	18×21	個人蔵
5-17	ヒョウ	制作年不明	墨、紙	18×21	個人蔵
5-18	渋井氏蔵書印	1920年代	木版、紙	26.4×39.2 (本紙)	個人蔵
5-19	陽光讃美	1920年	木版、紙	28×20	個人蔵
5-20	版木【骸骨図】	1915年	版木	12.2×12.2×0.6	宇都宮美術館
5-21	版木【裸女】	1921年	版木	15×11.5×0.8	宇都宮美術館
5-22	版木【ダンス】	1920年代前半	版木	15.2×11.5×1.5	宇都宮美術館
5-23	版木【ダンス(年賀葉書)】	1918年	版木	15.2×11.5×1.6	宇都宮美術館
5-24	【花魁】	1927年	木版(空刷り)、顔料、紙	29×23.5	個人蔵

No.	作家名(陽威二は省略)／作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	所蔵先
5-25	朝日カメラメダル	1929年	ブロンズ	24×17.5×3	個人蔵
5-26	極東選手権大会メダル	1930年	ブロンズ	Φ20.5×0.8	個人蔵
5-27	日米国際陸上競技大会役員章	1934年	ブロンズ	4×2.5×0.2	個人蔵
5-28	メダル[モダンガール]	1928年	アンチモン	3.3×2.5×0.2	宇都宮美術館
5-29	メダル[重量あげ]	1918年	銅、ニッケル、亜鉛	3.5×2.5×0.3	宇都宮美術館
5-30	コトカ肖像写真懸賞メダル	1930年	ブロンズ	Φ6×0.6	個人蔵
5-31	第一回中京乳幼児審査会メダル	1933年	ブロンズ	5.2×6.4×0.6	個人蔵
5-32	中等学校野球メダル原型	1930年	石膏	20×12.5×2.2	宇都宮美術館
5-33	中等学校水上競技メダル原型	1932年	石膏	Φ19.5×1.5	宇都宮美術館
5-34	全日本水上競技選手権大会メダル原型	制作年不明	石膏	21.5×17.5×2	宇都宮美術館
5-35	インカレ水泳大会メダル原型	1934年	石膏	16.5×20×2.5	宇都宮美術館
5-36	桜フィルムメダル原型	1934年	石膏	11.5×17×1.3	宇都宮美術館
5-37	富士フィルムメダル原型	1935年	石膏	14.5×19.5×2	宇都宮美術館
5-38	賞牌下図「パーレット倶楽部」	1931年	水彩、鉛筆、紙	28.9×24.7	個人蔵
5-39	メダル下図「第九回極東選手権大会優勝メダル」	1930年	水彩、鉛筆、紙	12.5×19	個人蔵
5-40	メダル下図「カメラを持つ女」	制作年不明	インク、紙	29.5×19	個人蔵
5-41	メダル下図「国債メダル図案」	1930年	鉛筆、紙	22.6×30.9	個人蔵
5-42	「タイピスト」6巻1号表紙 (「スクラップブック」所収)／発行元不明	1929年1月	印刷物	22×15	個人蔵
5-43	「タイピスト」6巻1号表紙下図	1928年頃	墨、鉛筆、紙	23×31.7	個人蔵
5-44	「コレクトマニア」1巻1号表紙／コレクトマニア社	1930年4月	印刷物	18.5×12.5×0.2	宇都宮美術館
5-45	「日本音楽舞踊家元名流大鑑」 (「婦人世界」26巻1号附録)表紙／婦人世界社	1931年1月	印刷物	18.3×12.5×1	個人蔵
5-46	「写真の趣味」81号表紙／小西六本店	1931年5月	印刷物	18.9×12.5×0.4	宇都宮美術館
5-47	「写真の趣味」84号表紙／小西六本店	1931年11月	印刷物	18.8×12.5×0.4	宇都宮美術館
5-48	画帖[大黒、木通ほか]	1923年	水彩、墨、紙	11.7×8×2	個人蔵
5-49	江藤純平、荻島安二ほか／画帖「諸家彩墨」	1920年代	水彩、墨、紙	8.5×6×2.5	個人蔵
5-50	江藤純平／[震災風景]	1920年代	水彩、墨、紙	18×21	個人蔵
5-51	荻島安二／[女]	1920年代	水彩、墨、紙	21×18	個人蔵
5-52	佐藤九二男／[黄色い服の女]	1920年代	水彩、墨、紙	21×18	個人蔵
5-53	福来雛	1924-35年頃	紙粘土に着色	8×27×18	宇都宮美術館
5-54	紙細工[雛]	1928-35年頃	絵葉書	5×12×6	個人蔵
5-55	紙細工[馬]	1928-35年頃	煙草箱に着色	9×9×3	個人蔵
5-56	洗濯バサミ細工[ダンス]	1928-35年頃	洗濯バサミに着色	7.5×2.5×2	個人蔵
5-57	陶人形[カップル]	1928-35年頃	陶に着色	5×7.5×2	個人蔵
5-58	木炭雛	1928-35年頃	木炭に着色	男：8×5.5×4 女：6.5×4.5×4	個人蔵
5-59	絵馬[家族]	1928-35年頃	板に着色	14×12×0.8	個人蔵
5-60	絵馬[大黒]	1928-35年頃	板に着色	14×12×1	個人蔵
5-61	絵馬「龍頭馬面」	1930年	落花豆、針金、板に着色	10×15×2	個人蔵
5-62	折紙創作帖	1934年	紙	23.5×30×2	個人蔵
5-63	装飾画[春の山]	1928-35年頃	紙箱に着色	10×18	個人蔵
5-64	南京豆細工[ひよっとこ]	1928-35年頃	落花生に着色	6×2×2	個人蔵

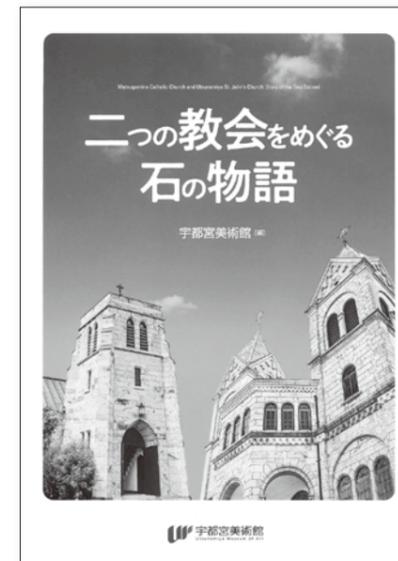
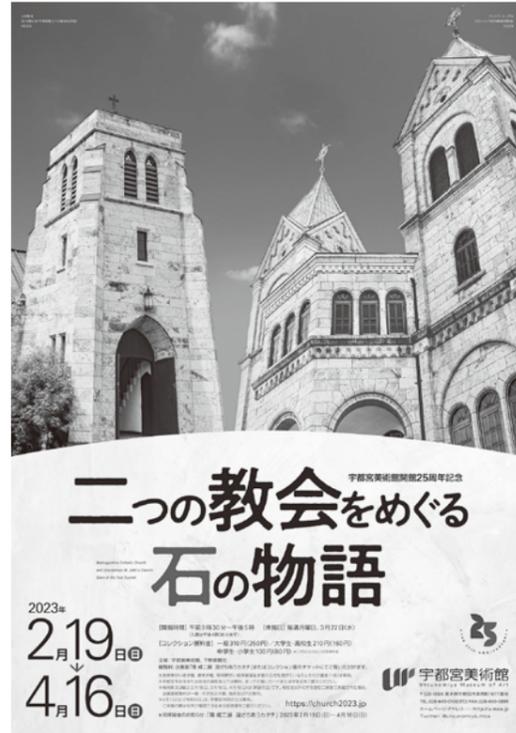
No.	作家名(陽威二は省略)／作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	所蔵先
5-65	南京豆細工[金太郎]	1928-35年頃	落花生に着色	4×2×2	個人蔵
5-66	南京豆細工[白衣観音]	1928-35年頃	落花生に着色	5.5×2×2	個人蔵
5-67	南京豆細工[鳩]	1928-35年頃	落花生に着色	6.5×13×3.5	個人蔵
5-68	南京豆細工[宝船]	1928-35年頃	落花生に着色	4.5×4.5×3.5	個人蔵
5-69	南京豆細工[龍]	1928-35年頃	落花生に着色	3×8.5×3	個人蔵
5-70	南京豆細工[大黒]	1928-35年頃	落花生に着色	4.5×2×3	個人蔵
5-71	南京豆細工[孔雀]	1928-35年頃	落花生に着色	7.5×6×4	個人蔵
5-72	南京豆細工[アヒル]	1928-35年頃	落花生に着色	4.5×4.5×3	個人蔵
5-73	南京豆細工[虎]	1928-35年頃	落花生に着色	3.5×5×2.5	個人蔵
5-74	南京豆細工[獅子]	1928-35年頃	落花生に着色	5×5.5×3	個人蔵
5-75	南京豆細工 製作材料セット	1928-35年頃	紙箱、落花生	6×6.5×8.5	個人蔵
5-76	南京豆細工下図	1928-35年頃	墨、紙	24.5×47.5	宇都宮美術館
5-77	ねむり	1930年	石膏	16×25×21	宇都宮美術館
5-78	兄弟(兄妹)	1932年	石膏着色	28.5×11×9.5	宇都宮美術館
5-79	[秋子夫人]	1923年	水彩、鉛筆、紙	36.4×28	個人蔵
5-80	輝ちゃん	1929年	鉛筆、紙	28.9×24.7	個人蔵
5-81	鍾馗	1935年	石膏着色	48×23×18	宇都宮美術館
5-82	[臨終図]	1935年	水彩、墨、紙	29.5×129.5	個人蔵
参考出品	木版画「江戸余情十景の内京ばし竹がし乃夕景」	制作年不明	木版、紙	24.5×17.5	個人蔵
参考出品	版木「江戸余情十景の内京ばし竹がし乃夕景」	制作年不明	版木	15.3×11.3×2	宇都宮美術館
参考出品	木版画年賀葉書「酉・亥・申・戌」	1920-23年	複製	各14.5×9.0	個人蔵
参考出品	馬上勇士メダル原型	1934年	石膏	24.5×28×1.8	宇都宮美術館
参考出品	日米水上競技役員メダル原型	1934年	石膏	23.5×17.5×2	宇都宮美術館
参考出品	NRRメダル原型	制作年不明	石膏	12.5×15×1.5	宇都宮美術館
参考出品	RAAメダル原型	制作年不明	石膏	6×6×1	宇都宮美術館
参考出品	[決闘文様]メダル原型	制作年不明	石膏	7.5×6.5×1	宇都宮美術館
参考出品	[ケンタウロス]メダル原型	制作年不明	石膏	7.5×6×0.8	宇都宮美術館
参考出品	[松明と剣を持つ男]メダル原型	制作年不明	石膏	18×18.5×2	宇都宮美術館
参考出品	伊豆半島及七島撮影競技メダル	制作年不明	ブロンズ	6.5×6.5×2	宇都宮美術館
参考出品	[孫悟空]カフスポタン原型	制作年不明	石膏	21.5×20×1.5	宇都宮美術館
参考出品	スクラップブック				個人蔵

宇都宮美術館開館25周年記念 二つの教会をめぐる石の物語 展

令和5年2月19日(日)～4月16日(日) 48日間
展示室2

1932年(昭和7)聖別の宇都宮天主公会二代聖堂(現・カトリック松が峰教会聖堂、設計=マックス・ヒンデル)と、1933年(昭和8)聖別の宇都宮聖約翰教会礼拝堂(現・日本聖公会 宇都宮聖ヨハネ教会礼拝堂、設計=上林敬吉)は、ともに大谷石を用いたリヴァイヴァル様式の近代建築として、所在地の宇都宮はもとより、全国的にも知られる美しい姿かたちの歴史的建造物です。

本展では、これらの二つの聖堂と礼拝堂について、(I)教会建築への誘い、(II)二人の建築家と二つの教会、(III)同時代性・近代建築との接点という文脈で掘り下げました。導入の「教会建築への誘い」は、キリスト教の世界観、西洋建築の歩みを通じて知る教会建築、日本近代の聖堂・礼拝堂の始まりと展開をわかりやすく紹介しました。中心となる「二人の建築家と二つの教会」においては、美術作品にも登場するヒンデルの教会建築、学校や病院、上林敬吉と、ジェームズ・マクドナルド・ガーディナー、ウィリアム・ウィルソン、ジョン・ヴァン・ウィー・バーガミら周辺の建築家たちの多様な業績に焦点を当てました。結びの「同時代性・近代建築との接点」は、大正年間・昭和戦前に実現された施設のうち、石、煉瓦、鉄筋コンクリートの使い方や、モダニズム志向、建築家の個性などの点で、注目すべき事例を取り上げました。

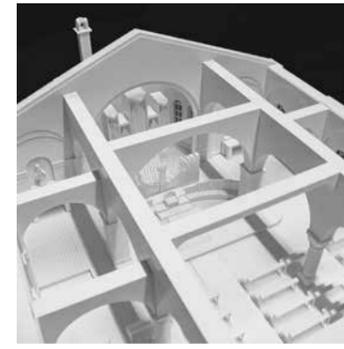
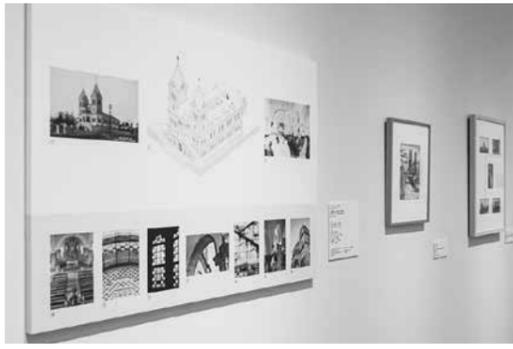


【関連者数】 6,401人
 【観覧料】 一般 310円(250円)
 大学生・高校生 210円(160円)
 中学生・小学生 100円(80円)
 *企画展もしくはコレクション展観覧料に含まれます。
 【主催】 宇都宮美術館、下野新聞社
 【出品点数】 59点
 【関連事業】 詳細は「教育普及 展覧会関連事業」(p.058～060)をご覧ください。

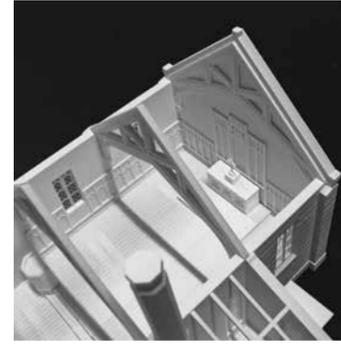
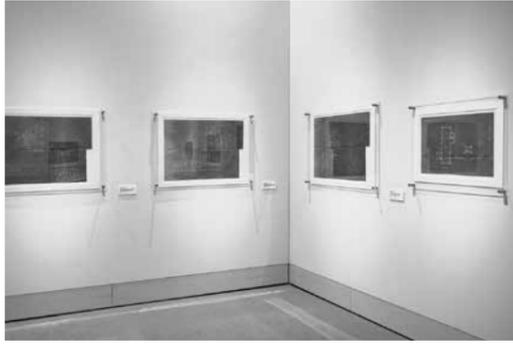
- 記念講演会①
令和5年3月12日(日) 午後2時～午後4時
- 記念講演会②
令和5年4月9日(日) 午後2時～午後4時
- 見どころガイド(担当学芸員によるスライド・レクチャー)
令和5年3月4日(土)・18日(土)・4月15日(土) 午後2時～
- 【印刷物】 ポスター B2判
 チラシ A4判
 建造物ガイド A4判
 図録 B5判変形
- 【担当】 橋本優子



No.	作家・設計者名	作品・展示物名	年代	技法・素材	発行・制作等	所蔵・画像提供等	備考
●教会建築への誘い							
1	関野準一郎	ノートルダム	1959年(昭和34)	木版、紙		宇都宮美術館	モチーフ：ノートルダム大聖堂(フランス、パリ)
2	海老原喜之助	十字架から降ろされるキリスト	1950年(昭和25)頃	油彩、キャンヴァス		宇都宮美術館	
3	松本家康	街頭の聖(『村の版画』通巻第2号)	1925年(大正14)	木版、紙		宇都宮美術館	
4	北英国聖書会社 編	『新約全書』	1885年(明治18)発行	印刷、紙	発行：日本横浜印行	個人コレクション	
5	水船六州	聖母病院(『新版画』第4号)	1932年(昭和7)	木版、紙		宇都宮美術館	モチーフ：国際聖母病院(マックス・ヒンデル 設計)
6	建築学参考図刊行委員会 編	『西洋建築史参考図集』上巻より「ロマネスク建築」	1931年(昭和6)発行	印刷、紙	発行：建築学会	個人コレクション	
7	建築学参考図刊行委員会 編	『西洋建築史参考図集』上巻より「ゴシック建築」	1931年(昭和6)発行	印刷、紙	発行：建築学会	個人コレクション	
8	建築学参考図刊行委員会 編	『西洋建築史参考図集』上巻より「ゴシック建築」	1931年(昭和6)発行	印刷、紙	発行：建築学会	個人コレクション	
9	安野光雅	ローマ	1992年(平成4)	リトグラフ、紙		宇都宮美術館	モチーフ：サン・ピエトロ大聖堂(バチカン)
10	安野光雅	シェラン島	1996年(平成8)	リトグラフ、紙		宇都宮美術館	モチーフ：サンクト・クヌート大聖堂(デンマーク、オデンセ)
11	安野光雅	モスクワ	1992年(平成4)	リトグラフ、紙		宇都宮美術館	モチーフ：聖ワシリイ大聖堂(ロシア、モスクワ)
●日本近代の聖堂・礼拝堂							
12	サント=オーギュスタン協会 編	『ローマ・カトリック教会宣教アルバム 東アジア編』より(前期展示)聖心教会初代聖堂(後期展示)日本派遣の司教たち	1888年(明治21)発行	印刷、紙	発行：サント=オーギュスタン協会	横浜開港資料館	
13	三代 歌川広重	横浜商館天主堂ノ図	1870年(明治2/3)	木版、紙		(前期展示)神奈川県立歴史博物館 (後期展示)横浜開港資料館	モチーフ：聖心教会初代聖堂(ブリュダンス=セラファン=バルテレミ・ジラルル司祭 基本構想)
14	ジャック・エドモン・ジョセフ・パビノ司祭 設計	『聲』361号(1906年6月)より「聖心教会二代聖堂」	1906年(明治39)聖別	写真パネル		所収文献所蔵・画像提供： 上智大学図書館	
15	ヤン・ヨセフ・スワガー 設計	聖心教会三代聖堂(現・カトリック山手教会聖堂)全景	1933年(昭和8)聖別 2022年(令和4)撮影	写真パネル		取材・撮影協力： カトリック山手教会	所在地：神奈川県横浜市中区山手町
16	フレデリック・ブライン大尉 設計	『クライストチャーチと横浜山手聖公会の150年』より「横浜クライスト・チャーチ初代礼拝堂」全景	1863年(文久3)聖別 2012年(平成24)所収文献発行	写真パネル		所収文献所蔵・画像提供： 横浜クライスト・チャーチ/ 横浜山手聖公会	
17	ジョサイア・コンドル 設計	横浜クライスト・チャーチ二代礼拝堂(横浜山手教会堂絵葉書)	1901年(明治34)聖別	印刷、紙		個人コレクション	
18	ジェイ・ハーバート・モーガン 設計	横浜クライスト・チャーチ三代礼拝堂(現・横浜クライスト・チャーチ/ 横浜山手聖公会礼拝堂)全景	1931年(昭和6)聖別 2022年(令和4)撮影	写真パネル		取材・撮影協力： 横浜クライスト・チャーチ/ 横浜山手聖公会	所在地：神奈川県横浜市中区山手町



No.	作家・設計者名	作品・展示物名	年代	技法・素材	発行・制作等	所蔵・画像提供等	備考
19	(さまざまな建築家)	①ローマ・カトリック教会と聖公会の建造物めぐり (幕末・明治・大正・昭和)	2023年(令和5)制作	スライド・ショー	制作:宇都宮美術館+ DAGA graphics	所蔵:画像提供、取材・撮影協力等:カトリック松が峰教会、カトリック十和田教会、カトリック神田教会、カトリック山手教会、カトリック仙台司教区、上智大学図書館、日本聖公会 宇都宮聖ヨハネ教会、日本聖公会 浅草聖ヨハネ教会、横浜クライスト・チャーチ/横浜山手聖公会、立教学院史資料センター、立教大学図書館、神奈川県立歴史博物館、横浜開港資料館、三沢フォトライブラリー、下野新聞社、福田和臣氏、個人コレクション	内容:宇都宮天主教会初代聖堂・司祭館、三本木天主教会初代聖堂、足利天主教会初代聖堂、神田天主教会初代・二代聖堂、聖心教会初代・二代・三代聖堂、頭ヶ島天主堂、宇都宮聖約翰教会 仮礼拝堂兼圖書、浅草聖ヨハネ教会初代・二代礼拝堂、聖三一教会初代礼拝堂、横浜クライスト・チャーチ初代・二代・三代礼拝堂、大阪英和学舎聖テモテ教会礼拝堂、立教初代・二代校舎
		②時代を結ぶ建造物めぐり(大正・昭和)	2023年(令和5)制作	スライド・ショー	制作:宇都宮美術館+ DAGA graphics	所蔵:画像提供、取材・撮影協力等:日本基督教団 安中教会、日本基督教団 安藤記念教会、日本基督教団 大阪教会、北星学園 北星学園創立百周年記念館、東京女子大学 大学資料室、日本聖公会 前橋聖マツア教会、学校法人聖路加国際大学、個人コレクション	内容:日本組合基督教会 安中教会新島裏記念会堂、日本メソヂスト教会 安藤記念教会会堂、日本組合基督教会 大阪基督教会二代会堂、北星女子学校宣教師館・寄宿舎・校舎、東京女子大学講堂・チャペル、日本聖公会 前橋聖マツア教会マキム主教記念礼拝堂
●カトリック松が峰教会聖堂							
20	マックス・ヒンデル 設計	宇都宮天主教会二代聖堂 (現・カトリック松が峰教会聖堂)	1932年(昭和7)聖別	写真パネル		所蔵:画像提供、取材・撮影協力等: カトリック松が峰教会、角 幸博 氏、 模型工房「さいとう」	内容:竣工当時の外観・内部、 かつての色ガラス窓、 現在の外観・内部、外観・内部投影図 所在地:栃木県宇都宮市松が峰
21	小林松夫	天主教会(『村の版画』通巻第14号)	1932年(昭和7)	木版、紙		宇都宮美術館	モチーフ:宇都宮天主教会二代聖堂 (マックス・ヒンデル 設計)
22	マックス・ヒンデル 設計	宇都宮天主教会二代聖堂 (宇都宮教会献堂式記念絵葉書)	1932年(昭和7)	印刷、紙		カトリック松が峰教会	
23	マックス・ヒンデル 設計	宇都宮天主教会二代聖堂(献堂式記念写真)	1932年(昭和7)	写真、印画紙		カトリック松が峰教会	
24	内田進久	教会	1938年(昭和13)	エッチング、紙		栃木県立美術館	モチーフ:宇都宮天主教会二代聖堂 (マックス・ヒンデル 設計)
25	武藤玲子	[松が峰教会]	1950~1960年代 (昭和25~44)	油彩、キャンヴァス		宇都宮美術館	モチーフ:宇都宮天主教会二代聖堂 (マックス・ヒンデル 設計)
26	内田進久	残照	1947年(昭和22)	エッチング、紙		栃木県立美術館	モチーフ:宇都宮天主教会二代聖堂 (マックス・ヒンデル 設計)
27	マックス・ヒンデル 設計	宇都宮天主教会二代聖堂 (現・カトリック松が峰教会聖堂)外観模型	1932年(昭和7)聖別 2022年(令和4)制作	ミクスト・メディア	制作:模型工房「さいとう」		縮尺:75分の1
28	マックス・ヒンデル 設計	宇都宮天主教会二代聖堂 (現・カトリック松が峰教会聖堂)内部模型	1932年(昭和7)聖別 2022年(令和4)制作	ミクスト・メディア	制作:模型工房「さいとう」		縮尺:50分の1
29	マックス・ヒンデル 設計	マックス・ヒンデルの建造物めぐり	2023年(令和5)制作	スライド・ショー	制作:宇都宮美術館+ DAGA graphics	所蔵:画像提供、取材・撮影協力等:天使の聖母 トラビスタヌ修道院、カトリック十和田教会、カトリック新潟教会、カトリック神田教会、金沢聖霊修道院、社会福祉法人聖霊病院、カトリック岐阜教会、カトリック仙台司教区、カトリック名古屋教区、藤女子中学校・高等学校、上智学院 ソフィア・アーカイブズ、上智大学図書館、南山学園 南山アーカイブズ、マリアの宣教師フランシスコ修道会・日本管区資料館、社会福祉法人聖母会 聖母病院、角 幸博 氏、福田和臣氏、個人コレクション	内容:フランシスコ会札幌修道院 二代修道院・小神学校、トラビスタヌ修道院 二代本館・聖堂・司祭館、三本木天主教会二代聖堂・司祭館・幼稚園旧園舎、新潟カトリック教会聖堂、神田天主教会三代聖堂、聖霊修道院付属聖堂、岐阜天主教会初代聖堂・司祭館、札幌高等女子学校校舎、上智大学二代校舎、南山中学校校舎、国際聖母病院



No.	作家・設計者名	作品・展示物名	年代	技法・素材	発行・制作等	所蔵・画像提供等	備考
30	三芳悌吉 作・画	『ある池のものがたり』	1986年(昭和61)	印刷、紙	発行:福音館書店	宇都宮美術館	モチーフ:新潟カトリック教会聖堂(マックス・ヒンデル 設計)
31	マックス・ヒンデル 設計	新潟カトリック教会聖堂(新潟名所絵葉書)	1927年(昭和2)聖別	印刷、紙		個人コレクション	
32	織田一磨	新潟唐人池	1929年(昭和4)	リトグラフ、紙		東京国立近代美術館	モチーフ:新潟カトリック教会聖堂(マックス・ヒンデル 設計)
33	川上澄生	池辺の館物	1927年(昭和2)頃	木版、紙		栃木県立美術館	モチーフ:新潟カトリック教会聖堂(マックス・ヒンデル 設計)
34	織田一磨	『画集新潟風景』より「異人池秋景」	1929年(昭和4)	リトグラフ、紙		東京国立近代美術館	モチーフ:新潟カトリック教会聖堂(マックス・ヒンデル 設計)
●日本聖公会 宇都宮聖ヨハネ教会礼拝堂							
35	上林敬吉 設計	宇都宮聖約翰教会礼拝堂(現・日本聖公会 宇都宮聖ヨハネ教会)	1933年(昭和8)聖別	写真パネル		所蔵・画像提供、取材・撮影協力等:日本聖公会 宇都宮聖ヨハネ教会、立教大学図書館、模型工房「さいとう」	内容:竣工当時の外観、現在の外観・内部、外観・内部投影図 所在地:栃木県宇都宮市桜
36	上林敬吉	宇都宮聖約翰教会礼拝堂 東・南立面図	1932年(昭和7) 1933年(昭和8)聖別	青焼、紙		日本聖公会 宇都宮聖ヨハネ教会	
37	上林敬吉	宇都宮聖約翰教会礼拝堂 西・北立面図	1932年(昭和7) 1933年(昭和8)聖別	青焼、紙		日本聖公会 宇都宮聖ヨハネ教会	
38	上林敬吉	宇都宮聖約翰教会礼拝堂 断面図	1932年(昭和7) 1933年(昭和8)聖別	青焼、紙		日本聖公会 宇都宮聖ヨハネ教会	
39	上林敬吉	宇都宮聖約翰教会礼拝堂 1・2階平面図	1932年(昭和7) 1933年(昭和8)聖別	青焼、紙		日本聖公会 宇都宮聖ヨハネ教会	
40	上林敬吉 設計	宇都宮聖約翰教会礼拝堂(現・日本聖公会 宇都宮聖ヨハネ教会)外観模型	1933年(昭和8)聖別 2022年(令和4)制作	ミクスト・メディア	制作:模型工房「さいとう」		縮尺:75分の1
41	上林敬吉 設計	宇都宮聖約翰教会礼拝堂(現・日本聖公会 宇都宮聖ヨハネ教会)塔屋概念模型	1933年(昭和8)聖別 2023年(令和5)制作	大谷石	制作:大谷石産業		縮尺:30分の1
42	上林敬吉 設計	宇都宮聖約翰教会礼拝堂(現・日本聖公会 宇都宮聖ヨハネ教会)内部模型	1933年(昭和8)聖別 2022年(令和4)制作	ミクスト・メディア	制作:模型工房「さいとう」		縮尺:50分の1
43	ジョン・ヴァン・ウィー・バーガミニ 基本設計、 上林敬吉 実施設計 および 上林敬吉 設計	①上林敬吉とその周辺の建造物めぐり(1)	2023年(令和5)制作	スライド・ショー	制作:宇都宮美術館+DAGA graphics	所蔵・画像提供、取材・撮影協力等:日本聖公会 盛岡聖公会、日本聖公会 秋田聖公会、日本聖公会 郡山聖公会、日本聖公会 高崎聖公会、日本聖公会 大宮聖公会、日本聖公会 浦和諸聖公会、日本聖公会 浅草聖ヨハネ教会、日本聖公会 福井聖三一教会、日本聖公会 北関東教区、日本聖公会 京都教区、学校法人聖路加国際大学、立教大学図書館、石森眞子氏、南知子氏	内容:盛岡聖公会二代礼拝堂、秋田聖公会二代礼拝堂、郡山聖公会バウロ教会礼拝堂、聖オーガスチン教会礼拝堂、大宮聖公会二代礼拝堂、浅草聖ヨハネ教会三代礼拝堂、福井聖三一教会礼拝堂
	ジェームズ・マクドナルド・ガーディナー、 ウィリアム・ウィルソン、 ジョン・ヴァン・ウィー・バーガミニ 設計	②上林敬吉とその周辺の建造物めぐり(2)	2023年(令和5)制作	スライド・ショー	制作:宇都宮美術館+DAGA graphics	所蔵・画像提供、取材・撮影協力等:日本聖公会 日光真光教会、日本聖公会 熊谷聖公会、日本聖公会 川越聖公会、日本聖公会 東京諸聖公会、日本聖公会 聖アグネス教会、日本聖公会 京都聖ヨハネ教会、日本聖公会 川口聖公会、日本聖公会 北関東教区、日本聖公会 京都教区、立教大学図書館、立教女学院資料室、博物館 明治村、津田 繁 氏、山岸 洋 氏、個人コレクション	内容:日光真光教会礼拝堂、熊谷聖公会二代礼拝堂、川越聖公会三代礼拝堂、東京諸聖公会礼拝堂、京都聖三一教会初代礼拝堂、京都聖ヨハネ教会初代礼拝堂、川口聖公会二代礼拝堂、立教女学院聖マーガレット礼拝堂



No.	作家・設計者名	作品・展示物名	年代	技法・素材	発行・制作等	所蔵・画像提供等	備考
44	ジェームズ・マクドナルド・ガーディナー 設計	日光真光教会礼拝堂 (現・日本聖公会 日光真光教会礼拝堂)全景	1916年(大正5)聖別 2014年(平成26)撮影	写真パネル		取材・撮影協力: 日本聖公会 日光真光教会	所在地:栃木県日光市本町
45	ウィリアム・ウィルソン 設計	川口基督教会二代礼拝堂 (現・日本聖公会 川口基督教会礼拝堂)内部	1920年(大正9)聖別 2022年(令和4)撮影	写真パネル		取材・撮影協力: 日本聖公会 川口基督教会	所在地:大阪府大阪市西区川口
46	ジョン・ヴァン・ウィー・バーガミニ 設計	立教女学院聖マーガレット礼拝堂 内部	1932年(昭和7)聖別 2022年(令和4)撮影	写真パネル		取材・撮影協力:立教女学院	所在地:東京都杉並区久我山
47	マーフィー・アンド・ダナ建築設計事務所	立教大学礼拝堂 内部透視図	1912年(明治45/大正元) 1920年(大正9)聖別	青焼、紙		立教学院史資料センター	
48	マーフィー・アンド・ダナ建築設計事務所	立教大学四代校舎、図書館、礼拝堂 (現・立教大学本館、メーザーライブラリー記念館、 立教学院諸聖徒礼拝堂)	校舎・図書館 1919年(大正8)竣工 礼拝堂 1920年(大正9)聖別	写真パネル		所蔵・画像提供、取材・撮影協力等: 立教学院史資料センター、 立教大学図書館	内容:校地完成予想俯瞰図、 外観・内部完成予想図、 現在の外観・内部
49	上林敬吉	『日本聖公会郡山教会新築工事仕様書』	1931年(昭和6) 1932年(昭和7)聖別	ガリ版、インク、紙		日本聖公会 郡山聖ペテロ聖パウロ教会	
50	ジョン・ヴァン・ウィー・バーガミニ	『東京諸聖徒教会礼拝堂新築工事仕様書』	1931年(昭和6)	タイプライター印字、 インク、紙		日本聖公会 東京諸聖徒教会	
51	ジョン・ヴァン・ウィー・バーガミニ 設計	東京諸聖徒教会礼拝堂(新築写真)	1931年(昭和6)	写真、印画紙 および 印刷、紙		日本聖公会 東京諸聖徒教会	
●モダニズムの教会建築							
52	ウィリアム・メレル・ヴォーリス 基本設計 マックス・ヒンデル 実施設計	北星女学校宣教師館 (現・北星学園創立百周年記念館)全景	1926年(大正15)竣工 2022年(令和4)撮影	写真パネル		取材・撮影協力: 北星学園 北星学園創立百周年記念館	所在地:北海道札幌市中央区南四条西 17丁目
53	ウィリアム・メレル・ヴォーリス 設計	日本組合基督教会 大阪基督教会二代会堂 (大阪基督教会献堂式記念絵葉書)	1922年(大正11)	印刷、紙		個人コレクション	
54	アントニン・レーモンド+ ヤン・ヨセフ・スワガー+ ペドジフ・フォイエルシュタイン 全体構想・基本設計 ジョン・ヴァン・ウィー・バーガミニ 実施設計 ヤン・ヨセフ・スワガー+上林敬吉 増築部分実施設計	聖路加国際病院、聖路加礼拝堂 (現・学校法人聖路加国際大学、聖ルカ礼拝堂)	病院・学校 1933年(昭和8)竣工 礼拝堂 1936年(昭和11)聖別	写真パネル		所蔵・画像提供、取材・撮影協力等: 学校法人聖路加国際大学、 立教大学図書館	内容:将来計画投影図、 竣工・聖別当時の外観、 現在の外観・内部
55	アントニン・レーモンド 設計	『自伝 アントニン・レーモンド』より 『東京女子大学講堂・チャペル』	1938年(昭和13)献堂 1973年(昭和48)本書発行	印刷、紙	発行:チャールズ・E・ タトル出版	個人コレクション	
56	アントニン・レーモンド 設計	東京女子大学講堂・チャペル	1938年(昭和13)献堂 2022年(令和4)撮影	写真パネル		取材・撮影協力: 東京女子大学 大学資料室	所在地:東京都杉並区善福寺
57	吉武長一 設計	日本メソヂスト教会 安藤記念教会会堂 (現・日本基督教団 安藤記念教会会堂)全景	1917年(大正6)献堂 2022年(令和4)撮影	写真パネル		取材・撮影協力: 日本基督教団 安藤記念教会	所在地:東京都港区元麻布
58	古橋柳太郎 設計	日本組合基督教会 安中教会新島襄記念会堂 (現・日本基督教団 安中教会新島襄記念会堂) ポーチ上部の新島家紋レリーフ	1919年(大正8)献堂 2022年(令和4)撮影	写真パネル		取材・撮影協力: 日本基督教団 安中教会	所在地:群馬県安中市安中
59	フランク・ロイド・ライト 設計	『ウェンディンヘン』7巻6号より 『帝国ホテル ライト館』	1923年(大正12)竣工 1925年(大正14)本書発行	印刷、紙		宇都宮美術館	

* 前期展示: 2023年(令和5)2月19日(日)~3月19日(日)、後期展示: 3月21日(火)~4月16日(日)

作品収集・保管

収蔵作品

宇都宮美術館では、ファイン・アートとデザインを視野にいれ、以下のような収集方針に基づいて作品を収集しています。

[1] 地域と美術

① 世界の美術

20世紀を中心に、「理念と構成の作家たち」として、パウル・クレー、ワシリー・カンディンスキーなどバウハウスに関連した作家たち、また、「色彩と装飾の作家たち」としてマルク・シャガール、ラウル・デュフィなどの作家たちの作品を収集しています。また、ファイン・アートとデザインを結ぶシンボル作品として、ルネ・マグリットを所蔵しています。

② 日本の美術

日本の美術に関しては、近代から現代までを幅広く収集しています。「創作版画」「ジョルジュ・ピゴー・コレクション」「MMGコレクション」を含み、19世紀末から今日までの日本美術の展開を回顧できるコレクション形成を目指しています。

③ 宇都宮にゆかりの作家たち

宇都宮に関係の深い作家たちの作品を収集しています。

[2] 生活と美術

20世紀を中心に、アール・ヌーヴォーから現代まで、幅広く世界・日本のデザインを扱っています。ポスターなどのグラフィック・デザイン、家具調度品などのプロダクト・デザインを収集しています。

[3] 環境と美術

野外彫刻を設置しています。美術館北庭にクレス・オルデンバーグ、公園部分にサンドロ・キア、バリー・フラナガンの3点の彫刻作品を収蔵しました。

分野別令和4年度新収蔵作品数

分野	種別	購入	寄贈	合計
絵画	版画*		11	11
デザイン	グラフィック・デザイン	2	9	11
資料・その他			104	104
合計				126

収集方針別所蔵作品数

(令和5年3月31日現在)

収集方針	分野	点数
地域と美術	世界の美術	53
	日本の美術	3,347
	宇都宮ゆかりの美術	208
	小計	3,608
生活と美術	デザイン	2,869
環境と美術	環境と美術	3
資料・その他	資料	480
	合計	6,960

年度別所蔵作品数

(令和5年3月31日現在)

	日本画	油彩・平面	水彩・素描	版画*	彫刻・立体	グラフィック・デザイン	プロダクト・デザイン	デザインその他	写真	工芸	アーティスト・ブック	資料・その他	合計
平成2年	6												6
平成3年	5			1									6
平成4年	2	5		22	2								31
平成5年	1	36	73	38								4	152
平成6年		16	2	3		832	190	8					1,051
平成7年	1	52	92	41	7	7	2	2				11	215
平成8年	6	32	123	58	24	77	60					7	387
平成9年	2	12		4	3	56	3	12					92
平成10年	1	10	2	7	8	13	1						42
平成11年		3		17		54	19					6	99
平成12年	13	4	25	17	24	10		1			1	1	95
平成13年	6	27	18	8	1	4	4	5					73
平成14年	2	7		3	4	234						201	451
平成15年	4	5	2	6	5	200	1						223
平成16年	5	8	1	36	9	207							266
平成17年		7	1	3		20				1			32
平成18年	9	8	8	10	6	128	1						170
平成19年		1	4	39	9	490							543
平成20年	1	84	190	1,829	15	33	6				20	140	2,318
平成21年		4		4		75		3				3	89
平成22年		60	10			1					3	1	75
平成23年	2	8											10
平成24年		2		68	5	16		3				1	95
平成25年		2			4	1							7
平成26年	2	5			61	2							70
平成27年	3	4	1	11	2	1							22
平成28年	8	2	2		1								13
平成29年	2		23	8	1	36	19	1				1	91
平成30年		18	1		2								21
令和元年		1		5		4							10
令和2年		1			2	69							74
令和3年						3	2						5
令和4年				11		11						104	126
合計	81	426	579	2,248	195	2,584	308	1	34	1	23	480	6,960

* 版画・版画集・版画本・版画誌

新収蔵作品

令和4年度の作品購入・寄贈による新収蔵作品は次のとおりです。

版画	11点(すべて寄贈)
グラフィック・デザイン	11点(うち購入2点、寄贈9点)
資料・その他	104点(すべて寄贈)

No.	作家名	作品名	制作年	技法、素材	寸法(cm)	収蔵の経緯
●版画(11点)						
1	池田信吾	花	1931	木版、紙	21.2×30.8	寄贈
2	池田信吾	雪の通り(仮)	1931	木版、紙	34.6×46.6	寄贈
3	池田信吾	県公会堂	1932	木版、紙	21.4×29.9	寄贈
4	池田信吾	白菜	1934	木版、紙	33.6×45.4	寄贈
5	池田信吾	栃木県庁	昭和初期	木版、紙	17×22.2	寄贈
6	池田信吾	シグナルとガード	昭和初期	木版、紙	17.1×23	寄贈
7	池田信吾	宮の橋	昭和初期	木版、紙	34.1×46	寄贈
8	池田信吾	踏切	昭和初期	木版、紙	21.7×29.4	寄贈
9	池田信吾	あけび	昭和初期	木版、紙	19.5×13.2	寄贈
10	池田信吾	雪吊りのある庭(仮)	昭和初期	木版、紙	31×22	寄贈
11	川上澄生	春の伏兵	1924	木版、紙	23.4×32.8	寄贈
●グラフィック・デザイン(11点)						
1	オトル・アイヒャー	1972オリンピック・ミュンヘン大会：8月26日～9月10日	1970	オフセット印刷、紙	84.1×59.4	寄贈
2	オトル・アイヒャー	1972オリンピック・ミュンヘン大会：21競技の公式ピクトグラム	1970	オフセット印刷、紙	59.4×42.1	寄贈
3	オトル・アイヒャー、マックス・ミュールベルガー	1972オリンピック・ミュンヘン大会(体操)	1970	オフセット印刷、紙	84.2×59.4	寄贈
4	オトル・アイヒャー、ゲリー・クラナム	1972オリンピック・ミュンヘン大会(馬術)	1970	オフセット印刷、紙	84.1×59.4	寄贈
5	オトル・アイヒャー、ペーター・コルネリウス	1972オリンピック・ミュンヘン大会(ヨット：於キール)	1970	オフセット印刷、紙	84.4×61.2	寄贈
6	オトル・アイヒャー、アルブレヒト・ゲーベレ	1972オリンピック・ミュンヘン大会(陸上競技)	1970	オフセット印刷、紙	84.4×59.6	寄贈
7	オトル・アイヒャー	1972オリンピック・ミュンヘン大会：8月26日～9月10日、競技日程	1971	オフセット印刷、紙	84.3×59.4	寄贈
8	オトル・アイヒャー、エーリヒ・パウマン	1972オリンピック・ミュンヘン大会：カヌー・スラローム、於アウグスブルグ、8月28日及び8月30日	1971	オフセット印刷、紙	84.4×59.4	寄贈
9	オトル・アイヒャー、マックス・ミュールベルガー	1972オリンピック・ミュンヘン大会(バスケットボール)	1971	オフセット印刷、紙	84.2×59.2	寄贈
10	オルシ	レヴュー・ネーグル(黒人レヴュー)：於エトワール劇場、シャンゼリゼ街136番地	1925	リトグラフ、紙	159.3×120.1	購入
11	キース・ヴァン・ドンゲン	(聖ヴァンサン・ド・ポール乳児院のための)慈善舞踏会「小さな白いベッド」：於オペラ座、2月1日	1920	リトグラフ、紙	160.3×110	購入
●資料・その他(104点)						
1～104	池田信吾	池田信吾旧蔵 創作版画資料 一式 [1]～[104]	1925～1935頃			寄贈

貸出

新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止や会期が変更となった会場があります。

展覧会名	会場	会期
杉浦非水 時代をひらくデザイン	島根県立石見美術館 たばこと塩の博物館 三重県立美術館 福岡県立美術館 静岡市美術館 群馬県立近代美術館	令和3年7月3日～令和3年8月30日 令和3年9月11日～令和3年11月14日 令和3年11月23日～令和4年1月30日 令和4年4月15日～令和4年6月12日 令和4年11月19日～令和5年1月29日 令和5年4月22日～令和5年6月18日
	作家名	作品名
	杉浦非水	非水図按集 第一輯
展覧会名	会場	会期
上野リチ： ウィーンから来た デザイン・ファンタジー	京都国立近代美術館 三菱一号館美術館	令和3年11月16日～令和4年1月16日 令和4年2月18日～令和4年5月15日
	作家名	作品名
	ヨーゼフ・ホフマン	蓋物 蓋物 花器 鉢
	オットー・ブルツチャー	花鉢
	ミヒャエル・ボヴォルニー	花器
	エドゥアルト・ヨーゼフ・ヴィンマー =ヴィスグリル	ラウンジ・セット
	村野藤吾	フロア・ランプ
展覧会名	会場	会期
交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー	豊田市美術館 島根県立石見美術館 東京都庭園美術館	令和4年6月7日～令和4年9月4日 令和4年9月17日～令和4年11月28日 令和4年12月17日～令和5年3月5日
	作家名	作品名
	モーリス・デュフレヌ	1幕物喜歌劇「絹の輝き」
	ロジェ・ペロー	ル・フュレーのコレット 御婦人方の夢です
	ガルシア・ベニート	カンデーのゴム靴と雪靴
	ヘレーネ・ハースパウアー =ヴァルラート	ゼーリヒマン社の住宅・オフィス家具
	C.ヴィロ	家具装飾展
	作家/デザイナー名不詳	革新的生地
	A.バレーズ	革新的生地ウィットゲード
	ヨースト・シュミット	〈雑誌〉「オフセット」第7号(パウハウス特集号)
	テオドル・ボークラー	蓋物
	マリアンネ・ブラント	ナプキン・スタンド
	マリアンネ・ブラント	ブックエンド
	マリアンネ・ブラント	インク壺
	マルセル・プロイヤール	ラウンジチェア B25「ジッツマシーネ(座るための機械)」
	エーリヒ・ディークマン	ラウンジ・チェア
	オットー・リンディヒ	ココアポット

展覧会名	会場	会期
	オッター・リンディヒ	ココアポット
	マルガレーテ・ハイマン・マルクス	ティーセット
	マルゲリーテ・フリートレンダー・ヴィルデンハイン	蓋物
	マルゲリーテ・フリートレンダー・ヴィルデンハイン	ティーセット「ハレッシュェ・フォルム」
	フーベルト・グリーメルト	コーヒーポット
	フーベルト・グリーメルト	蓋物
	ゲルハルト・マルクス	ティーポット「ティアガルテン」(プロトタイプ)
	カール・ミュラー	ケーキスタンド
	カール・ミュラー	茶筒
	カール・ミュラー	ポット
	カール・ミュラー	ポット
	リリー・シュルツ	茶筒
	ヴォルフガング・テュンベル	テーブルランプ(プロトタイプ)
	グスタフ・ヴァイダツ	ティーポット
	フランツ・ルードルフ・ヴィルデンハイン	植木鉢カバー
	クリスティーネ・ヴァルカー	〈原画〉テキスタイルのデザイン(ブルク・ギービッヘンシュタイン美術工芸学校織物工房 生徒作品)
	クリスティーネ・ヴァルカー	〈原画〉テキスタイルのデザイン(ブルク・ギービッヘンシュタイン美術工芸学校織物工房 生徒作品)
	クリスティーネ・ヴァルカー	〈原画〉テキスタイルのデザイン
	クリスティーネ・ヴァルカー	〈原画〉テキスタイルのデザイン
	クリスティーネ・ヴァルカー	〈原画〉テキスタイルのデザイン
	ブルク・ギービッヘンシュタイン美術工芸学校 織物工房	織物工房見本帖
	ブルク・ギービッヘンシュタイン美術工芸学校 織物工房	織物工房見本帖
	ブルク・ギービッヘンシュタイン美術工芸学校 織物工房	帯状織見本
	ヨーゼフ・ホフマン	鉢
	オッター・ブルツチャー	花鉢
	エドゥアルト・ヨーゼフ・ヴィンマー =ヴィスグリル	ラウンジ・セット

展覧会名	会場	会期
開館30周年記念・川上澄生 没後50年 特別企画展 川上澄生の全貌	鹿沼市立川上澄生美術館	令和4年9月10日～令和5年3月26日
	作家名	作品名
	川上澄生ほか	『村の版画』通巻第6号 『村の版画』通巻第8号
展覧会名	会場	会期
開館25周年記念 華厳社 一下野の画人たち	小杉放菴記念日光美術館	令和4年9月17日～令和4年11月20日
	作家名	作品名
	松本姿水	早春 霜の朝
展覧会名	会場	会期
黒川弘毅—— 彫刻／触覚の理路	武蔵野美術大学 美術館・図書館	令和4年10月24日～令和4年11月20日
	作家名	作品名
	黒川弘毅	Hekate No.9 Hekate No.10 Hekate No.11
展覧会名	会場	会期
川島理一郎 自然から得た生命の律動 (足利市立美術館) 川島理一郎展 —— 描くことは即ち見ること (栃木県立美術館)	足利市立美術館 栃木県立美術館	令和4年10月29日～令和4年12月25日 令和5年4月15日～令和5年6月18日
	作家名	作品名
	川島理一郎	舞妓 裸婦と山羊

燻蒸

令和4年度は燻蒸及び薬剤噴霧を行いました。
作業期間:令和4年6月3日(金)～令和4年6月5日(日)
作業範囲と種別: [1階]展示室を除く全域に、噴霧及び
燻蒸[2階]事務ゾーンの各室内燻蒸(計約1,000㎡)

投薬:ピレスロイド系殺虫成分シフェノトリンを液化炭酸ガスで溶解したものの噴霧、及びその濃度維持による燻蒸
効果:供試虫(ヒラタクヌストモドキ)の殺虫効果は100%

修復

[1]アードルフ・カルペルス
《皇帝記念杯・第6回オーストリア国際射撃競技会》
1908年 リトグラフ、紙 122.7×94.6cm

[2]オスカー・ヘルマン・ヴェルナー・ハーダンク
《ドイツ国民評議会を設立せよ
収穫を豊かならしめよ
ドイツの農民よ、汝の祖国を護れ》
1920年頃 リトグラフ、紙 47.1×72.5cm

[3]ヴィルヘルム・バッターマン
《オーストリア＝ハンガリー帝国戦争公債に
応募せよ》
1918年頃 リトグラフ、紙 59.1×84.4cm

[4]トーマス・テオドル・ハイネ
《ベルリン分離派秋季展：絵画・彫刻》
1915年頃 リトグラフ、紙 72.2×94.9cm

[5]ヨーゼフ・フォン・ディヴェキエー
《第7回戦争公債 国民と国家の存亡の危機を救い、
戦いに早く勝つために》
1917年 リトグラフ、紙 93.7×63.4cm

[6] SEM [グルサ]
《世界平和のために、国債に応募せよ》
1917年 リトグラフ、紙 118.0×78.0cm

修復前状態：
これら6点の作品には、経年の劣化などにより本紙の汚れや折れ、破れといった傷みが見られ、本紙裏面に粘着剤のしみ込みが見られる箇所もありました。また、本紙自体が弱っている箇所もあり、展示にも保存にも良い状態ではありませんでした。

修復状況：
①粘着剤のしみ込みは、可能な限りそれらの除去を行いました。その上で、本紙の弱っているものは、裏面の四辺に和紙で補強しました。
②本紙のクリーニングや補修処置を施しました。
③展示の方法に合わせて、各作品のマット装を行いました。

[7]～[9]トニー・スリエ
[7]《花 1》
制作年不詳 油彩、印画紙上の写真 80.3×58.4cm

[8]《花 2》
制作年不詳 油彩、印画紙上の写真 80.0×58.8cm

[9]《花 3》
2003年 油彩、印画紙上の写真 58.5×80.0cm

修復前状態：
これら3点の作品はマクリの状態であったため、取り扱いや保存の観点からしっかりと台紙にマウントすることが望ましい状態でした。

修復状況：
①マウントするにあたり、まず画面のほこり汚れを刷毛などを使いドライクリーニングしました。
②その後、作品裏面に適宜和紙によるヒンジを取り付け、作品表面側からはヒンジが見えないように中性紙の台マットにしっかりと糊付けしました。

[10]谷川晃一 《渦色のハート》
1966年 水彩、鉛筆、紙 121.7×182.3cm

修復前状態：
この作品には、経年の劣化などにより本紙の汚れや折れ、破れといった傷みが見られました。また、本紙の劣化に伴い、彩色の欠損箇所が確認され、展示にも保存にも良い状態ではありませんでした。

修復状況：
①本紙のクリーニングや補修処置を施しました。
②必要に応じて補彩を行いました。

[11]クレス・オルデンバーグ
《中身に支えられたチューブ》
1985年 457×366×290cm ブロンズ、鉄

[12]サンドロ・キア
《ハートを抱く片翼の天使》
1996年 200×60×53cm ブロンズ

[13]バリー・フラナガン
《ホスピタリティー（歓迎）》
1990年 300×465×168cm ブロンズ

修復前状態：
3作品とも令和元年度に定期的なメンテナンスを兼ねた修復を施しており、状態は比較的安定していましたが、野外の環境に置かれているため作品表面には雨水落下痕や汚れが目立つ部分があり、ワックスが喪失している部分もありました。また、[11]の「チューブ」部分には中子側水分の噴出による塗装の部分剥落が見られました。[12]の「天使」の手の甲の部分、[13]の「ウサギ」の脚の部分には白色噴出物が確認されました。

修復状況：
①3作品とも、水および非イオン系・高生分解性洗浄剤で洗浄し、作品表面の汚れをきれいに落としました。
②噴出物が見られる部分はそれを除去し、油彩顔料によって補彩しました。
③作品保護のため、[11]および[13]はマイクロクリスタリンワックス、[12]はミツロウを全体に塗布しました。

*作品寸法はすべて縦×横(×奥行) cm

宇都宮市美術作品等収集評価委員会

宇都宮市に宇都宮市美術作品等収集評価委員会を置き、収集する作品の選定及び評価に関する調査審議を行っています。

(令和5年3月31日現在)

宇都宮市美術作品等収集評価委員会

氏名	役職	備考
大木礼子	さくら市ミュージアム荒井寛方記念館副館長兼学芸係長	
大谷省吾	東京国立近代美術館副館長	
杉村浩哉	慶應義塾大学教授、栃木市立美術館館長	
長門佐季	神奈川県立近代美術館企画課長	
沼田英子	横浜市民ギャラリーあざみ野主席学芸員	
橋本真司	栃木県立美術館技幹兼学芸課長	
平野 到	埼玉県立近代美術館学芸主幹	
樋田豊次郎	美術史家	委員長
前山裕司	新潟市美術館館長	副委員長
増渕鏡子	福島県立美術館専門学芸員	

委員会開催実績

開催年月日	会場	審査作品数
令和5年1月7日(土)	宇都宮美術館会議室	購入作品2点 寄贈作品124点

展覧会関連事業

これらの時間についての夢展

担当：小堀修司、黒木彩香

講演会

コレクションを魅せる！
テーマ展示の今日的な課題と可能性

講師 松岡 剛氏(広島市現代美術館 主任学芸員)
日時 令和4年10月15日(土) 午後2時～午後4時
会場 講義室
参加人数 28人

90年代以降隆盛しているコレクションを活用したテーマ展についての講演会。歴史的な背景を踏まえ、その現代的な課題と可能性について、広島市現代美術館をはじめとした多様な事例を挙げながら、お話しいただきました。



担当学芸員による見どころガイド

会場	展示室1、2、3、中央ホール	
日時、参加人数		
1	令和4年12月3日(土)午後2時～	8人
2	令和4年12月10日(土)午後2時～	8人
3	令和4年12月17日(土)午後2時～	7人
4	令和4年12月24日(土)午後2時～	10人
合計		33人

陽成二展 混ざりあうカタチ

担当：前村文博

講演会

陽成二の「いき」の構造

講師 濱崎礼二氏(宮城県美術館副館長)
日時 令和5年3月5日(日) 午後2時～午後3時30分
会場 講義室
参加人数 46人

陽成二について「江戸趣味」をキーワードに、構造社での活動や、大正、昭和初期の時代背景に触れながら、同時代に活躍した九鬼周造の「いき」の構造』になぞらえた、作家陽成二の美学についてお話いただきました。



ワークショップ

はりこでようかんじ

講師 にしこはりこ氏(張り子作家)
日時 令和5年3月18日(土) 午後2時～午後4時
令和5年3月19日(日) 午前11時～午後1時、午後2時～午後4時
会場 中央ホール
参加人数 31人

陽成二の作品をモチーフにした張り子を作りました。



担当学芸員による見どころガイド

会場	展示室3	
日時、参加人数		
1	令和5年3月11日(土) 午後2時～午後3時	12人
2	令和5年3月25日(土) 午後2時～午後3時	20人
3	令和5年4月8日(土) 午後2時～午後3時	25人
合計		57人

宇都宮美術館開館25周年記念
二つの教会をめぐる石の物語 展
担当：橋本優子

記念講演会①

マックス・ヒンデルの生涯と建築作品

講師 角 幸博氏(北海道大学名誉教授、歴史的地域資産研究機構代表理事)

日時 令和5年3月12日(日) 午後2時～午後4時

会場 講義室

参加人数 37人

スイスに生まれ、1924～1940年(大正13～昭和15)の間、日本で活動したヒンデルの生涯と業績について、建築史の観点からご講演をいただきました。



記念講演会②

戦前日本のミッション建築家たち

講師 鈴木勇一郎氏(川崎市市民ミュージアム学芸員)

日時 令和5年4月9日(日) 午後2時～午後4時

会場 講義室

参加人数 39人

日本近代におけるキリスト教の広まりと、明治に根を下ろし、大正・昭和戦前に発展を遂げたミッション建築について、文化史の観点からご講演をいただきました。



見どころガイド(担当学芸員によるスライド・レクチャー)

会場 講義室

日時、参加人数

1	令和5年3月4日(土)	午後2時～	46人
2	令和5年3月18日(土)	午後2時～	11人
3	令和5年4月15日(土)	午後2時～	22人
合計			79人

学校・地域との連携

スクール・プログラム

担当：小堀修司、黒木彩香、野澤晴奈

当館では、学芸員による見どころ紹介、ボランティアとの対話型鑑賞、バックヤードツアーなど、さまざまな「スクール・プログラム」を用意しています。今年度は、例年以上に高校、専門学校、大学の団体に来館いただき、それぞれの来館目的に応じ美術館の社会的な役割について紹介するなど、オリジナルのプログラムづくりの機会に恵まれました。今後も、より多くの学校にスクール・プログラムを活用してもらえよう工夫を凝らし、学校とのより良い連携を模索していきたいと思えます。



No.	日時	曜日 団体名	参加人数	見学内容
1	令和4年10月1日	(土) 宇都宮共同高等産業技術学校	22	これらの時間についての夢展
2	令和4年10月18日	(火) 文星芸術大学	17	これらの時間についての夢展
3	令和4年11月2日	(水) 報徳看護専門学校	41	これらの時間についての夢展
4	令和4年11月8日	(火) 帝京大学 宇都宮キャンパス	20	これらの時間についての夢展
5	令和4年11月9日	(水) 帝京大学 宇都宮キャンパス	15	これらの時間についての夢展
6	令和4年11月10日	(木) 日光市立落合西小学校	18	これらの時間についての夢展
7	令和4年12月1日	(木) 栃木県立のざわ特別支援学校	6	これらの時間についての夢展
8	令和4年12月1日	(木) 風と緑の認定こども園	90	これらの時間についての夢展
9	令和4年12月3日	(土) 日本大学理工学部	31	これらの時間についての夢展
10	令和4年12月9日	(金) 宇都宮市立雀宮東小学校	56	これらの時間についての夢展
11	令和5年2月10日	(金) 群馬大学	12	コレクション展
12	令和5年2月10日	(金) 宇都宮大学	5	コレクション展
13	令和5年2月22日	(水) IFC大学校	22	陽成二展、教会展、コレクション展
合計 団体鑑賞 13団体 355人				
15	令和4年12月7日	(水) 宇都宮市立平石北小学校5・6年生	73	これらの時間についての夢展
16	令和5年2月21日	(火) 宇都宮市立清原東小学校4年生	64	陽成二展、教会展、コレクション展
17	令和5年3月1日	(水) 宇都宮市立富屋小学校5・6年生	58	陽成二展、教会展、コレクション展
合計 訪問鑑賞会 3団体 195人				
18	令和4年10月25日～27日	(火) 宇都宮市立姿川中学校 (木)	2	受付・監視員体験、文化財害虫トラップの調査体験、作品についての調べ学習、講義室前の掲示物作成
19	令和4年12月6日 8日 9日	(火) 宇都宮市立若松原中学校 (木) (金)	2	受付・監視員体験、文化財害虫トラップの調査体験、作品についての調べ学習、講義室前の掲示物作成
合計 職場体験(宮っ子チャレンジ)受け入れ 2校 4人				

宇都宮美術館訪問鑑賞会

担当：黒木彩香、小堀修司

当館では平成30年度より、宇都宮市教育委員会文化課と協働し、学校と美術館を結ぶバスを運行しています。令和4年度は、公募で決定した3校を3日間にわたっ

て迎え入れ、コレクション展をじっくりと鑑賞する時間を設けました。また、コレクション展の担当学芸員が見どころについて、スライドを上映しながらお話ししました。

1 宇都宮市立平石北小学校5・6年生

日時 令和4年12月7日(水)
午前8時40分～午後2時(学校発～美術館発)
対象 5年生1クラス(34人)、6年生1クラス(39人)



2 宇都宮市立清原東小学校4年生

日時 令和5年2月21日(火)
午前8時30分～午後2時30分(学校発～美術館発)
対象 4年生2クラス(60人)



3 宇都宮市立富屋小学校5・6年生

日時 令和5年3月1日(水)
午前8時30分～午後0時20分(学校発～美術館発)
対象 5年生1クラス(32人)、6年生1クラス(22人)



トビダス美術館(出張授業)

担当：黒木彩香、小堀修司

当館では平成17年度より、学芸員が宇都宮市内の学校を訪問して授業を行う「トビダス美術館」(出張授業)を実施しています。令和4年度は、前年度に引き続き、過去に実施した授業などを参考にしながら学校の先生方と事前に授業を

話し合い、それを踏まえて、担当学芸員がプランを提案・実施しました。今年度は「作品鑑賞」「体験的な内容」「アーティスト招聘」の3タイプの授業を、5校で開催しています。

1 宇都宮市立陽光小学校 大きな紙に墨で絵をかこう

日時 令和4年11月24日(木)
2～3校時(午前9時30分～午前11時25分)
対象 6年生2クラス(49人)
担当 黒木彩香、野澤晴奈

ジャクソン・ポロックや白髪一雄など「動き」を感じられる美術作品について学んだのち、墨を使って大きな和紙に絵を描きました。黒一色の制限の中で、太い筆や刷毛、手や指を使って身体の「動き」や形を意識しながら、各自に与えられた抽象的なお題に沿って制作しました。完成した作品を鑑賞し、お互いにタイトルを付けました。



2 宇都宮市立西が岡小学校 「わたし」と「わたし」を はしわたし

日時 令和4年12月8日(木)
2～3校時(午前9時35分～午前11時25分)
対象 3年生2クラス(64人)
担当 石川 潤

「なりたい職業」のポーズをとって写真に撮ってもらい、それをもとに未来の自画像を描く、という学校で行われた図画の授業からの発展をもくろみました。①浅井忠の作品と、その制作に際し参照された写真を比較。お手本どおりではない“絵の都合”を観察します。②「絵にしかできないこと」に注意を向けたうえで、マグリット《大家族》を鑑賞。嘘をつくことで、別の次元の真実を示唆する方法について考えます。③さらに、デフォルメされた自画像、二重肖像、アバター、心の中の守護霊的存在などのイメージを見てもらったうえで、「もしかしたらの自分の姿」を各自2つずつ描画。自分の内なる可能性・多様性を臆さず表現してもらおうと企てました。



3 宇都宮市立豊郷中央小学校

インスタレーションに挑戦。 羊に命を吹き込もう!

講師 高橋 銃氏(アーティスト)

日時 令和5年1月24日(火)

1~4校時(午前8時30分~正午)

対象 5年生4クラス(137人)

担当 小堀修司、野澤晴奈

アーティストの高橋銃(たかはしせん)さんによる授業。高橋さんに制作した羊の作品を持参してもらい、羊がよりリアルに見えることを目指し、みなでインスタレーションを制作しました。事前学習で、羊の暮らし環境などを調べてもらっていたため、どのクラスも思い描いた場面を目指して集中して制作しました。背景となる絵、舞台の小道具のような草木、映像、音、さらには他の羊・牧羊犬・羊飼いに扮したパフォーマーを登場させるクラスもあり、創意工夫に富んだ内容になりました。



4 宇都宮市立岡本小学校

走れ! にじいろの黒ねこ

講師 miiya氏(版画家)

日時 令和5年2月1日(水)

3~4校時(午前10時45分~12時25分)

対象 6年生1クラス(34人)

担当 伊藤伸子

版画家のmiiya(ミーヤ)さんによる授業。34人のステンシル版画をコマ撮りすることによって1本のアニメーションを作りました。あらかじめmiiyaさんに人数分の型紙を用意していただき、授業のはじめにステンシルの刷り方を教わりました。その後、各自で絵の具とスポンジローラーを使い、さまざまなポーズをした猫の形を刷りだしました。全員の作品を1点ずつデジタルカメラでコマ撮りしてつなげると、猫が走るアニメーションの完成です。できあがった作品は、6年生の卒業制作として全員がタブレットで共有することになりました。デジタル時代の新しい共同制作の試みです。



5 宇都宮市立清原北小学校

絵から読み取ろう、描いて伝えよう

日時 令和5年3月9日(木)

5~6校時(午後1時50分~3時30分)

対象 5年生1クラス(19人)

担当 藤原 啓

タイトルを伏せたままにして郭熙《早春図》の画像を見ながら、「季節はいつ頃だろう?」「この場所はどこにあるのだろうか?」という問いへの回答を各自で考えてみました。その際、描かれているものを根拠に説明することを心がけてもらいました。その後、タイトルを伏せながらアルブレヒト・デューラー《メレンコリア I》、藤森静雄《かげ》、辰野登恵子《2012の夏》の画像を見て、これらのタイトルを考えました。これらの作品に付けたタイトルをもとに、その元となった作品とは全く異なる作品になることを意識しながら、画用紙に絵を描きました。完成した作品を、その作者と同グループの別の児童がクラスのみみんなに向けて紹介しました。



アート・トーク(館外美術セミナー)

担当: 小堀修司

学芸員が宇都宮市内の学校を訪問して授業を行う「トビダス美術館」(出張授業)とは異なり、より広い市民の皆さんに向けた館外セミナーを、さまざまなテーマで実施しています。令和4年度は、前年度にパイロツ

白衣にアートの心を

名画で鍛える診療のエッセンス

講師 森永康平氏、伊藤伸子、小堀修司

日時 4月13日(水)、5月18日(水)、6月22日(水)、7月13日(水)、8月10日(水)、9月7日(水)、10月12日(水)、11月9日(水)の午前10時~11時、1月4日(水)の午後1時30分~2時10分、2月8日(水)、3月8日(水)の午前10時~11時

対象、参加人数 獨協医科大学1年生・病棟実習生、109人

医学生を対象に、診療時の情報収集やコミュニケーションのスキルアップを目指し、対話型鑑賞を獨協医科大学、宇都宮美術館、栃木市立美術館で行いました。授業のシラバスづくり、実施、期末レポートのコメントまで長期的に連携したことで、医学生の見る・話す技術が向上していく様子が分かりました。

ト実施を行った、獨協医科大学と連携した医学生向けの対話型鑑賞の活動が本格化し、新たな展開が実現しました。



対話型鑑賞で見る

宇都宮美術館コレクションと現代アート

講師 小堀修司

日時 令和4年7月11日(月) 午前10時～正午

会場 LAST

対象、参加人数 市民サークル「大人教養サロン」、5人

現代アートの楽しみ方をテーマとしました。はじめに自己紹介として、美術館機能(収集保存、展示/教育普及、調査研究)について具体的な業務を例示しました。次に、マルセル・デュシャンの作品等を例に、「美しいもの」から逸脱し、美術をめぐる制度への言及といったコンセプトに重きを置くアート作品が登場してきた流れを概観しました。そして、対話型鑑賞の方法で、宇都宮美術館のコレクションを中心とした現代アート作品をみなで読み解いていきました。

いきいきセミナー

美術館の収集方針と美術作品を知る見る学ぶ ～出かけよう! 今秋リニューアルオープン～

講師 石川 潤

日時 令和4年7月21日(木) 午前10時～11時30分

会場 宮の原地域コミュニティセンター

対象、参加人数 30人

開館25周年を迎える宇都宮美術館のコレクションの成り立ちについて、収集方針に即し、それぞれのジャンルから代表的な作品を取り上げてお話ししました。その際、「アートとデザインの双方を扱う美術館」という特色を強調し、バウハウスでの具体例を中心に、とすれば対極的なものと見られがちなアートとデザインの関係性についても、参加者に踏み込んで考えていただきました。また、作品解説に触れることで「今まで見過ごしていた細部がよく見えるようになる」という体験を引き合いに出し、美術館では、「見る」から始まって「知る・学ぶ」へと発展していったものが、再び「見る」へと還流する、という豊かな運動が起こることにも言及しました。



モーニングセミナー

いま、美術館ができること

講師 伊藤伸子

日時 令和4年8月10日(水) 午前6時～7時

会場 栃木県青年会館コンセーレ

対象、参加人数 宇都宮中央倫理法人会、30人

コロナ禍が落ち着き出かけることができるようになってきた情勢のなかで、訪問先として美術館を知ることがテーマとしました。まず当館のコレクションについてお話した上で、スペインへの作品貸出、図録の編集など、近年の調査研究・収集保存・教育普及について、多様な活動を例示しました。そして、最後に現在の美術館活動の展望を紹介しました。

宇都宮大学 i-PU科学人材育成プログラム

イノベティブデザイン入門

講師 橋本優子

日時 令和4年8月20日(土)、10月23日(日)

会場 宇都宮大学 基盤教育センター ラーニングcommons

対象、参加人数 県内外の高校生、56人

初回では、宇都宮大学「i-PU科学人材育成プログラム」の一環として「デザインとは何か」「新しくものをつくる」とは、どういうことか」についての講義を行いました。第2回では、大谷石の文化の継承をテーマにワークショップ型の講義を行いました。

脳を刺激する?!

新しい形の芸術鑑賞

講師 橋本優子

日時 令和4年8月25日(木) 午前10時～正午

会場 平石地区市民センター

対象、参加人数 29人

「脳を刺激する」をテーマとし、美術とデザイン作品の比較を出発点に作品の見方を紹介した。ルネ・マグリットの油彩画、フランク・ロイド・ライトの建築、アルフォンス・ミュシャのデザイン作品などを題材として、同じ作品でも、人それぞれ感じ方が異なる点を互いに認め合うことで、多様な見方ができることを体験してもらうことを目指しました。

鑑賞講座

ライトと大谷石と二つの教会展

講師 橋本優子

日時 令和4年10月28日(金)

会場 宇都宮市立城山中学校

対象、参加人数 宇都宮市立城山中学校生徒・教員、117人

フランク・ロイド・ライトが、日本と宇都宮の近代に与えた影響を画像上映で講義し、宇都宮におけるその発展形と考えられる二つの石の教会、カトリック松が峰教会聖堂と日本聖公会宇都宮聖ヨハネ教会礼拝堂の魅力を紹介しました。

館長講座

担当：小堀修司

企画展の関連事業や、コレクション展と連動する美術講座とは異なり、美術に関する幅広いテーマを取り上げ、館長が自ら講師を務めるスライド・レクチャーです。令和4年度は、宇都宮美術館友の会、豊

郷地区内小中学校魅力ある学校づくり地域協議会・豊郷地区青少年育成会との共催により、美術講演会として開催しました。

館長講座

西洋美術は面白い—歴史画を「読む」

講師 佐々木吉晴

日時 令和4年11月23日(水・祝) 午後2時～午後3時30分

会場 講義室

対象、参加人数 88人

17世紀にアカデミーが誕生して以来、フランスでは歴史画が最上位に位置づけられてきました。歴史画の多くは寓意に満ちています。ダヴィッドなどいくつかの作例を取り上げて、その意味を読み取っていく講演でした。



社会体験学習「宮っ子チャレンジウィーク」の受け入れ

担当：黒木彩香、小堀修司

宇都宮市では市立中学校2年生を対象に、社会体験学習「宮っ子チャレンジウィーク」を実施しています。当館では今年度に2校4名の中学生を受け入れました。本年度は、文化財害虫のトラップ調査や作品について

での調べ学習など学芸員の仕事が体験できるようなプログラムを実施しました。最終日には、美術館の紹介レポートを書いてもらい、講義室前にある掲示板に掲示しました。

社会体験学習

宮っ子チャレンジウィーク

対象、参加人数 宇都宮市立粟川中学校 2人

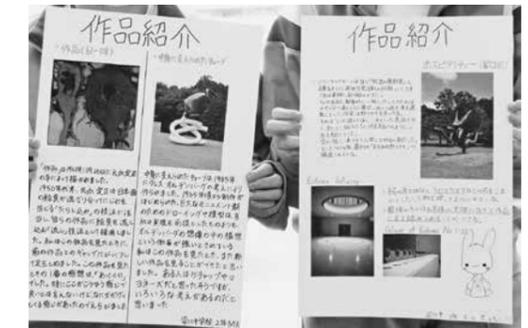
日時 令和4年10月25日(火)・26日(水)・27日(木)

対象、参加人数 宇都宮市立若松原中学校 2人

日時 令和4年12月6日(火)・8日(木)・9日(金)

体験内容

- ①受付・監視員の仕事体験
- ②文化財害虫トラップの調査体験
- ③作品についての調べ学習
- ④講義室前の掲示物作成



博物館実習

担当：小堀修司

宇都宮美術館では、下記の条件により、博物館実習生を受け入れています。

対象：現在、大学または大学院に在籍中であり、博物館法施行規則第1条に定められた博物館に関する科目の単位を履修済みまたは履修中の者で、美術館および学芸員職に関心のある者。

応募者多数の場合、以下の条件を満たす者を優先します。

- (1)栃木県の出身者および県内の大学・大学院に在学する者。
 - (2)美術・デザインに関する分野を専攻する者。
- 令和4年度の受け入れはありませんでした。

広報用印刷物

担当：石川 潤

No.	種別	規格	発行	発行部数
1	令和4年度展覧会スケジュール	A4判変形観音折り	令和4年 8月	20,000部
2	宇都宮美術館news 第48号	A4判	令和4年 8月	5,000部
3	宇都宮美術館news 第49号	A4判	令和4年 12月	5,000部



教育普及

森のコンサート

担当：金子真幸

No.	タイトル 出演者(演奏者) 内容	日時	参加人数
第110回	秋の散歩道 演奏者(演奏者) 内容 童謡からドビュッシー、ピアノソナ、ガーシュイン・ファンタジーと、幅広い曲目を披露。 演奏曲:「花のフルツ」、「森の情景」ほか。	令和4年11月12日(土)午前11時~	141人
第111回	早春への誘い 演奏者(演奏者) 内容 フルートとピアノが癒しのハーモニーを奏でるコンサート。 演奏曲:「序奏とロンド Op.98」、「Earth」ほか。	令和5年2月25日(土)午前11時~	141人
合計 2回			282人

* 令和4年9月まで改修工事休館のため、令和4年度は2回の開催

教育普及



印刷物 チラシ A4判

森のアトリエ

担当：小堀修司

宇都宮美術館では、緑豊かなうつのみや文化の森に「森のアトリエ」を設置し、四季を通して自然と親しめる環境でさまざまなワークショップを開催しています。令和4年度は、アーティストの早崎真奈美氏によるサイアノタイプのワークショップを開催し、自然素材を用いたオリジナルの写真づくりに取り組みました。



森のアトリエ・ワークショップ

切り絵と写真術(サイアノタイプ)で空想の植物をつくろう

講師 早崎真奈美氏(アーティスト)

日時 令和5年3月11日(土)

① 午前10時～正午

② 午後2時～4時

会場 森のアトリエ、文化の森公園

参加人数 ①13人 ②13人

印刷物 チラシ A4判



自然観察会

担当：金子真幸、野澤晴奈、古屋裕子

宇都宮美術館では、平成9年度から、うつのみや文化の森の自然の素晴らしさや大切さを体験し、自然保護の意識を高め、その活動をとおして家族や友人との絆を深めることを目的として、「自然観察会」を開催しています。主な内容として、以下の3つをあげることができます。

- ①生態観察(昆虫・鳥類・植物など)から自然に親しむ知識を学ぶ。
- ②公園で遊ぶなかで、自然を体感する。
- ③自然素材(つる、木の実など)を利用した工作をする。

豊かな森のなかで、市民のみなさまに楽しい時間を過ごしていただければと考えています。

令和4年度は、予定された全事業5本に対し、第1回「ホテルと夜の生き物観察会」および第2回「夏の自然を観察しよう」が中止になり、3本を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、募集定員を観察会の内容により調整し、第1回、第2回、第4回は例年の半数(20人)、第3回は30人、第5回は40人としました。



3. バッタとあそぼう



4. リースをつくろう



5. 里山の野鳥を観察しよう

No.	タイトル	日時	講師等	参加人数
1	ホテルと夜の生き物観察会 中止*	令和4年6月11日(土) 午後7時～午後9時	合田健二氏、青木章彦氏、末本一己氏、田中清貴氏	—
2	夏の自然を観察しよう 中止*	令和4年7月16日(土) 午前9時～午前11時	合田健二氏、末本一己氏、菅井道雄氏、田中清貴氏	—
3	バッタとあそぼう	令和4年9月17日(土) 午前9時～正午	合田健二氏、久松信介氏、末本一己氏	30人
4	リースをつくろう	令和4年11月26日(土) 午前9時～正午	遠藤孝一氏、遠藤隼氏、遠藤康子氏、川田裕美氏	21人
5	里山の野鳥を観察しよう	令和5年3月4日(土) 午前9時～正午	遠藤孝一氏、遠藤隼氏、遠藤康子氏、川田裕美氏	34人
				合計 3回 85人

*悪天候のため、中止

宇都宮美術館友の会

担当：伊藤伸子

平成9年の発足から10年間活動を続けてきた宇都宮美術館振興会が、平成18年度末をもって解散したことをうけて、平成19年度から「宇都宮美術館友の会」として発足し16年を経過しました。宇都宮美術館の活動を支援し、会員相互の親睦を深めるとともに、教養の向上を図ることにより芸術文化の発展に寄与することを目的としています。さらに、地域との結びつきや生涯学習についても、アートをキーワードに携わっていきたいと考えています。そのため、各種事業を企画・実施しており、友の会の活動を円滑にするために各部会を設置し、自主的な活動をしています。主な活動は以下のとおりです。

- ① 総会・運営委員会の開催(総務部)
- ② U-moaコンサート(総務部)
- ③ 美術館めぐり(事業部)
- ④ 広報誌「アートの森」の発行(広報部)
- ⑤ 県内を中心とした作家の紹介、美術講演会の企画・開催(発見部)
- ⑥ 「クリスマスの夕べ」、「新春のつどい」の開催(事業部)
- ⑦ 賛助法人会員との懇談会(総務部)
- ⑧ 子どもフェスタin文化の森(共催)

令和4年度について：

令和4年度の活動は、

- ① 会員への総会資料送付に代わる事業報告の送付、出席者を絞った運営委員会の開催
 - ④ 広報誌「アートの森」の号外発行
 - ⑤ 美術講演会*の企画・開催
- を実施し、それ以外の活動については、新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止しました。

*詳細は「館長講座(美術講演会)」(p.068)をご覧ください。

会員数	令和5年3月31日現在
会員種別	会員数
一般会員	119人
ペア会員	37組
賛助個人	17人
賛助法人	25口 (24社)
合計	198口 (197件)

令和4年度事業内容		令和4年4月～令和5年3月		
No.	事業名	日付	内容	参加人数
1	書面による事業報告	令和4年8月26日(金)	会員に対する事業報告の送付	313人
2	広報紙「アートの森」号外Ⅲ発行	令和5年3月24日(金)	1100部発行	
3	美術講演会の企画・開催	令和4年11月23日(水・祝)	西洋美術は面白い―歴史画を「読む」	88人

ボランティア

担当：伊藤伸子、小堀修司、大垣昌紀、金子真幸、高橋由美子

宇都宮美術館では、開館以来、さまざまな事業の折にボランティアの方々のお力をお借りしてきました。現在、宇都宮美術館は以下のようなボランティア活動により支えられています。

[1] 作品解説倶楽部

コレクション展の作品解説を行っています。令和4年度の登録者数は12人です。

- ① コレクション展ギャラリー・トーク
 - ② スクール・プログラム ガイド・ボランティア
 - ③ コレクション展・企画展等の勉強会・研修会
 - ④ オンライン・コンテンツ作り(作品解説動画と野外彫刻鑑賞ワークシート)
- 令和4年4月16日(土)、5月14日(土)、7月9日(土)、8月13日(土)、9月10日(土)、10月8日(土)、11月12日(土)、12月10日(土)、1月14日(土)、2月11日(土・祝)、3月11日(土)の午前10時～正午

[2] 事業ボランティア

美術館が主催する教育普及事業にお手伝いいただいておりますが、令和4年度は職員のみで運営しました。
・森のコンサート
・自然観察会

[3] 発送ボランティア

企画展のポスター、チラシ等の発送をする活動です。令和4年度は職員のみで作業しました。
・企画展広報物、定期刊行物等発送

[4] ポスター配布ボランティア

企画展のポスターやチラシ等を、主にオリオン通り商店街に配布する広報活動です。
メール便での送付に代替し、令和4年度の活動はありませんでした。

[5] 落ち葉さらいボランティア

うつのみや文化の森及び駐車場内にて、落ち葉等の清掃活動を行いました。
12月10日(土)午前10時～正午

開館25周年記念事業

概要

宇都宮美術館は令和4年3月23日に開館25周年を迎え、工事休館が明けた令和4年度に3本の周年記念事業を実施しました。

開館25周年記念

全館コレクション展 これらの時間についての夢展
コレクションの魅力を広く内外に発信する展覧会です。アートとデザインという当館ならではの取蔵品を多角的に紹介することに加え、現代美術作家のインスタレーションによって美術館の場所性や独特の「時間」について感じとっていただけのような展示を行いました。

詳細は「企画展」(p.010～p.023)をご覧ください。

開館25周年記念

二つの教会をめぐる石の物語展

これまでの研究実績をふまえ、地域の文化資源の発掘・再評価となる場を創出する展覧会です。開館20周年記念展の「石のまち宇都宮」からの継続的な調査研究の成果として、宇都宮市が産する

「大谷石」が用いられた二つの教会について、建築史と教会史の視点から検証する内容でした。

詳細は「企画展」(p.040～p.049)をご覧ください。

開館25周年記念出版

宇都宮美術館所蔵作品選

doors: the collection 1997—2022

本書は約6,800点(2022年8月1日現在)を数える当館のコレクションから、1997年の開館以降あらたに収集された作品を含む103点について紹介するものです。世界・日本の美術はもちろん、当館の特色である世界・日本のデザイン作品からも代表作を選び、学芸員による書き下ろしの作品解説と、大きく見やすいカラー図版を掲載しました。解説文中には、関連するほかの作品・作家・キーワードにジャンプするための仕掛けを施し、巻末には作家の略年譜、作家を知るための推薦図書を掲載しました。doors(扉)というタイトルには「美術館の扉を、あなたの部屋からいつでも開けるように」という願いをこめています。



開館25周年記念ロゴマーク



「doors」図録とスリーブ

新型コロナウイルス感染症の影響、予防対策とその実践

概要

令和4年の夏に感染急拡大が起りましたが、美術館が再開した9月25日に栃木県の「BA・5対策強化宣言」が終了しました。これを受けて事業定員は感染前への回復に努め、予防対策は休館以前のものの一部継続しました。

[1] 展覧会事業への影響

全館コレクション「これらの時間についての夢」

講演会の定員を、通常の講義室利用人数の50%に減らして実施しました。これ以降の定員は100%に戻しました。

[2] 教育普及事業への影響

(展覧会の関連事業を除く)

自然観察会

全5回のうち4回の定員を通常の50%または75%に減らして実施しました。令和5年3月4日(土)「里山の野鳥を観察しよう」から、定員を通常に戻して実施しました。

アートトーク

9件の事業のうち2件が中止となりました。

[3] 宇都宮美術館友の会・

ボランティア活動への影響

① 宇都宮美術館友の会

新型コロナウイルス感染症対策に加えて工事休館のため、U-moaコンサート、美術館めぐり、県内を中心とした作家の紹介、クリスマスのタペ、新春のつどい、賛助法人会員との懇談会、子どもフェスタin文化の森2022を中止しました。

② ボランティア

新型コロナウイルス感染症対策に加えて工事休館のため、事業ボランティアは森のコンサートの

受付・誘導補助、自然観察会の受付・サポートを、発送ボランティアは令和4年度の企画展広報物・定期刊行物の発送補助を、それぞれ中止しました。

[4] 施設における具体的な予防対策の実践

① 全般・広報

新型コロナウイルス感染症に関する取り組みや、新型コロナウイルス接触確認アプリCOCOAのインストールなど、さまざまなお願い事項を記載したサインと印刷物を作成し、館内各所に設置・配布することで、来館者のご協力を促進しました。公式ホームページにも掲載しています。

アルコール消毒液を用意し、館内各所に設置しました。

受付など、人と人が対面する場所に飛沫防止パーテーションを設置しました。

施設の清掃・消毒を徹底しました。

来館者に対して、便器の蓋を閉めて水を流すことをお願いする案内サインを洗面所に設置しました。

来館者に対して、展示室での筆記用鉛筆の貸与を中止しました。

② 情報コーナー

情報コーナーの書籍(一部)、他の閲覧用資料を撤去しました。

情報コーナーに残した書籍や図録については、閲覧できないことをお知らせする案内サインを設置し、本棚に結界を張りました。

③ 展示室

観覧者に対して、密を避けて鑑賞いただく呼びかけボードを作成し、展示室従業員によって展示室の各所で提示しました。

改修工事

概要

平成9年の供用開始から20年以上が経過した宇都宮美術館では、施設・設備の老朽化が進み、空調機器を中心に不具合が多発し、対処療法的な修繕が続いてきました。また、博物館専用蛍光灯の製造中止により、照明器具のLED化も必要となりました。

こうしたなかで、平成29年度に実施した「施設劣化診断調査及び改修手法等調査業務」の調査結果に基づき、緊急度・優先度の高い箇所の改修工事を早急に進め、適切な作品の保護及び鑑賞環境の維持・向上を図るために、令和3年8月2日(日)から令和4年9月24日(土)まで、工事休館し、下記の内容の改修工事を実施しました。

空調設備改修、照明LED化等の施設保全整備

① 機械設備

● 熱源設備

温水ヒーターのオーバーホール
空冷チラー(冷却水循環装置)に温水系統の増設

● 空調設備

展示室1・2・3、収蔵庫1・2系統の空気調和機(AHU)のオーバーホール
厨房設備の換気ファン等の更新

● 自動制御設備

中央監視装置、検出器、電磁弁、ダンパー等の更新

② 電気設備

● 電灯設備

展示室1・2・3、収蔵庫1・3、中央ホール、プロムナード・ギャラリー、コリドール、ウォールケースの照明LED化

● 動力設備

空調設備等のケーブル改修

● 受変電設備

受変電設備内部改修
(真空遮断弁、高圧負荷閉閉器等)

● 拡声設備

スピーカー改修

● 火災報知設備

感知器改修

● 防犯カメラ設備

カメラ、モニター、ハードディスク等の更新
(令和5年1月～2月実施)



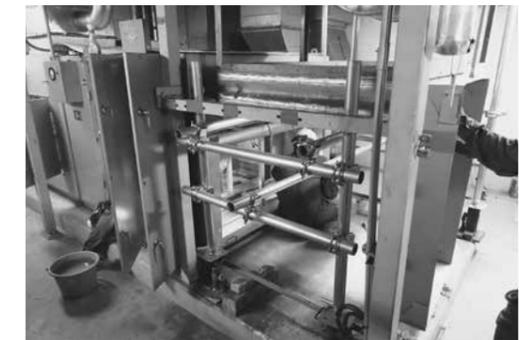
温水ボイラーのオーバーホール



自動制御設備の更新



収蔵庫1の照明工事



地下の空調機器のオーバーホール



展示室3の照明工事①



展示室3の照明工事②



防犯カメラ更新①



防犯カメラ更新②

利用実績

観覧者数・施設利用状況

月別観覧者数 (単位:日、人)

年月	コレクション展 開催日	観覧者数	1日平均	企画展 開催日	観覧者数	1日平均	合計 観覧者数	1日平均
令和4年	4月	-	-	-	-	-	-	-
	5月	-	-	-	-	-	-	-
	6月	-	-	-	-	-	-	-
	7月	-	-	-	-	-	-	-
	8月	-	-	-	-	-	-	-
	9月	-	-	5	673	134.6	673	134.6
	10月	-	-	26	3,117	119.9	3,117	119.9
	11月	-	-	21	2,698	128.5	2,698	128.5
	12月	-	-	24	1,801	75.0	1,801	75.0
令和5年	1月	-	-	11	1,946	176.9	1,946	176.9
	2月	16	499	8	904	113.0	1,403	144.2
	3月	26	366	26	2,171	83.5	2,537	97.6
合計		42	865	121	13,310	110.0	14,175	65.0

観覧者内訳 (単位:人、%)

区分	コレクション展	企画展	合計	構成比		
有料観覧者①	個人	一般	694	6,007	6,701	38.8
		大学生・高校生	63	358	421	2.4
		中学生・小学生	19	148	167	0.9
		小計	776	6,513	7,289	42.3
		家庭の日	一般	-	150	150
	大学生		-	2	2	0.0
	小計		-	152	152	0.9
	団体	一般	13	330	343	2.0
		大学生・高校生	0	112	112	0.6
		中学生・小学生	0	0	0	0.0
		小計	13	442	455	2.6
	宇都宮美術館友の会	3	446	449	2.6	
	小計	792	7,553	8,345	48.4	
	無料観覧者②	引率教職員	0	30	30	0.2
障がい者		14	577	591	3.4	
介護者		9	381	390	2.3	
不徴収		一般	0	0	0	0.0
		大学生・高校生	6	71	77	0.4
		中学生・小学生	16	574	590	3.4
		未就学児	12	344	356	2.1
招待		16	3,780	3,796	22.0	
小計	73	5,757	5,830	33.8		
共通観覧者③	3,075	-	3,075	17.8		
合計** (①+②+③)	3,940	13,310	17,250	100.0		

* 共通観覧者とは、企画展チケットによるコレクション展の観覧者を指す
 ** 観覧者数の合計は「二つの教会をめぐる石の物語展」の人数(3,579人)を含まない

企画展別観覧者数及び観覧料 (単位:日、人、円)

展覧会名	開催期間	開催 日数	有料 観覧者	無料 観覧者	共通 観覧者*	合計	1日平均	観覧料	1日平均
コレクション展									
第1回	2月10日(金)～3月31日(金)	42	792	73	3,075	3,940	93.8	232,920	5,546
小計		42	792	73	3,075	3,940	93.8	232,920	5,546
企画展									
全館コレクション展	9月25日(日)～1月15日(日)	87	5,936	4,299	-	10,235	117.6	6,129,320	70,452
陽成二展	2月19日(日)～3月31日(金)	34	1,617	1,458	-	3,075	90.4	1,649,460	48,514
二つの教会をめぐる石の物語展	2月19日(日)～3月31日(金)	34	0	3,579	-	3,579	105.3	0	0
小計		155	7,553	9,336	-	16,889	109.0	7,778,780	50,186
宇都宮美術館友の会		-	-	-	-	-	-	219,300	-
合計		197	8,345	9,409	3,075	20,829	105.7	8,231,000	41,782

* 共通観覧者とは、企画展チケットによるコレクション展の観覧者を指す
 ** 企画展観覧料には観覧料減免(大コレクション展742,800円、陽成二展249,000円)を含む

年度別観覧者数及び観覧料 (単位:人、円)

年度	区分	コレクション展 観覧者数	観覧料	企画展 観覧者数	観覧料	友の会 観覧料	合計 観覧者数	観覧料
平成29年度	有料観覧者	1,936	534,090	23,298	16,544,480	1,121,750	25,234	18,200,320
	無料観覧者	411	-	21,517	-	-	21,928	-
	共通観覧者*	29,282	-	-	-	-	29,282	-
	計**	31,629	-	44,815	-	-	76,444	-
平成30年度	有料観覧者	1,989	550,510	30,612	23,705,120	1,052,750	32,601	25,308,380
	無料観覧者	637	-	29,373	-	-	30,010	-
	共通観覧者*	45,343	-	-	-	-	45,343	-
	計**	47,969	-	59,985	-	-	107,954	-
令和元年度	有料観覧者	2,918	752,750	47,445	42,914,640	1,018,500	50,363	44,685,890
	無料観覧者	663	-	39,263	-	-	39,926	-
	共通観覧者*	49,821	-	-	-	-	49,821	-
	計	53,402	-	86,708	-	-	140,110	-
令和2年度	有料観覧者	1,218	349,480	19,330	16,152,420	860,500	20,548	17,362,400
	無料観覧者	113	-	21,272	-	-	21,385	-
	共通観覧者*	33,564	-	-	-	-	33,564	-
	計	34,895	-	40,602	-	-	75,497	-
令和3年度	有料観覧者	1,903	530,550	4,906	3,614,540	0	6,809	4,145,090
	無料観覧者	455	-	13,721	-	-	14,176	-
	共通観覧者*	8,340	-	-	-	-	8,340	-
	計	10,698	-	18,627	-	-	29,325	-
令和4年度***	有料観覧者	792	232,920	7,553	7,778,780	219,300	8,345	8,231,000
	無料観覧者	73	-	9,336	-	-	9,409	-
	共通観覧者*	3,075	-	-	-	-	3,075	-
	計	3,940	-	16,889	-	-	20,829	-

* 共通観覧者とは、企画展チケットによるコレクション展の観覧者を指す
 ** 平成29年度～30年度の観覧者数の合計は「サテライト美術館」の観覧者数を含まない
 *** 令和4年度企画展観覧料は観覧料減免(991,800円)を含む

その他の貸出等件数 (単位:件)

件名	件数
講義室貸出	0
写真原版貸出	27
合計	27

組織

公益財団法人うつのみや文化創造財団概要

1. 名称 公益財団法人うつのみや文化創造財団
2. 設立者 宇都宮市
3. 基本財産 1億1千万円
4. 主たる事務所 〒320-8570 栃木県宇都宮市明保野町7番66号
5. 組織



6. 役員等の構成(令和5年3月31日現在)

- ①評議員 15人
- ②理事 11人(うち、理事長1人、副理事長1人、常務理事1人)
- ③監事 2人

宇都宮美術館及びうつのみや文化の森概要

1. 所在地 〒320-0004 栃木県宇都宮市長岡町1077番地
2. 組織体制及び職員数



施設概要・利用案内

建物概要・設備概要

1. 建物概要

- 設計 ———— 株式会社岡田新一設計事務所
監理 ———— 宇都宮市建設部建築課・設備課、株式会社岡田新一設計事務所
施工 ———— [建築] 大林・渡辺・中村・日豊建設共同企業体
[電気設備] 関電工・船見・協新建設共同企業体
[機械設備] 岩原・須賀・河内山建設共同企業体
[外溝] 日豊工業株式会社、大林・渡辺・中村・日豊建設共同企業体

2. 建築概要

- 敷地面積 263,424 m² (公園全体面積)
建築面積 5,036 m²
延床面積 9,674 m²
構造 鉄骨鉄筋コンクリート造
階数 地下1階、地上2階
工期 平成5年12月23日～平成8年8月30日

3. 仕上げ概要

- 外部仕上げ 屋根/コンクリート陸屋根、亜鉛合金複合板
壁/大谷石貼り、磁器質ポードータイル、アルミスバンドル
開口部/アルミサッシュ、ステンレスサッシュ
外溝/エントランス(広場床):花崗岩
内部仕上げ [フロムナード・ギャラリー]
床/フローリング(レッドオーク)壁/大谷石貼り(一部 PBVE)天井/ペイマツ練付け CL
[中央ホール]床/大理石壁/PBVE天井/アルミパンチングメタル
[コリドール]床/フローリング(レッドオーク)壁/PBVE天井/ペイマツ練付け CL
[展示室]床/タイルカーベット、フローリング(レッドオーク)壁/EGウォールEP
天井/アルミ格子天井

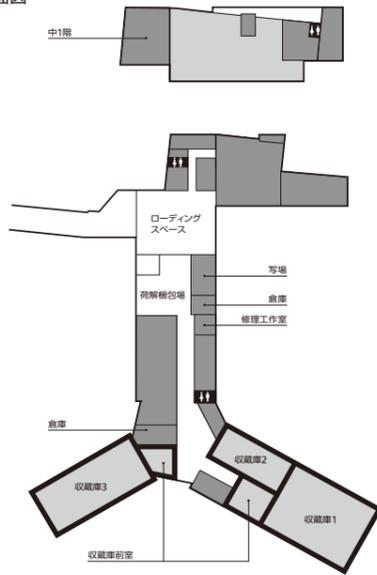
4. 設備概要

- 電気設備 受電電圧3相3線6.6KV
設備容量 2,250KVA
非常用発電機ガスタービン400KVA (発電出力320kw)
通信設備 電話、インターホン、時計
防災設備 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、誘導灯、非常用照明、非常警報・放送設備、非常用発電設備、防火シャッター、防火戸、排煙口、排煙窓、排煙ダンパー、排煙ファン、防煙垂れ壁、ITV 設備、消火設備(消火器、屋内消火栓、移動式粉末消火設備、連結送水管、連結散水設備、泡消火設備、二酸化炭素消火設備、簡易自動消火装置)
衛生設備 [給水]圧力タンク方式
[排水]公共下水道
空調設備 真空式給湯暖房温水機、スーパーフレックスモジュールチラー、ユニット型空調和機、ヒートポンプパッケージ型空調和機、自動制御設備、中央監視制御設備
昇降機設備 エレベーター (乗用: 1基/定員13人、荷物用: 3500kg×1基、4000kg×1基)
厨房用ダムウェーター (300kg×1基)

部門別床面積・平面図

区分	部屋名等	床面積
展示部門	展示室1	588㎡
	展示室2	358㎡
	展示室3	633㎡
	準備室(1・2・3)ほか	129㎡
小計		1,708㎡
教育普及部門	講義室	174㎡
	講義室関係諸室(調整室等)	38㎡
	情報スペース	72㎡
	ボランティア室	16㎡
	小計	
調査研究部門	学芸員室・図書資料室	125㎡
	記録保存室	17㎡
	修理工作室	31㎡
	写場	56㎡
	小計	
収蔵部門	収蔵庫1	411㎡
	収蔵庫2	150㎡
	収蔵庫3	286㎡
	収蔵庫前室	74㎡
小計		921㎡
管理部門	役員室	24㎡
	館長室	24㎡
	応接室	24㎡
	事務室・副館長室	84㎡
	会議室	88㎡
	事務諸室(中央監視室等)	140㎡
小計		384㎡
サービス部門	エントランス・ホール	340㎡
	プロムナード・ギャラリー	242㎡
	中央ホール	359㎡
	コリドール	109㎡
	休憩コーナー	219㎡
	レストラン	262㎡
	ミュージアム・ショップ	50㎡
	関係諸室(厨房等)	288㎡
	小計	
その他	倉庫、トイレ、廊下、機械室	4,263㎡
	延床面積	9,674㎡

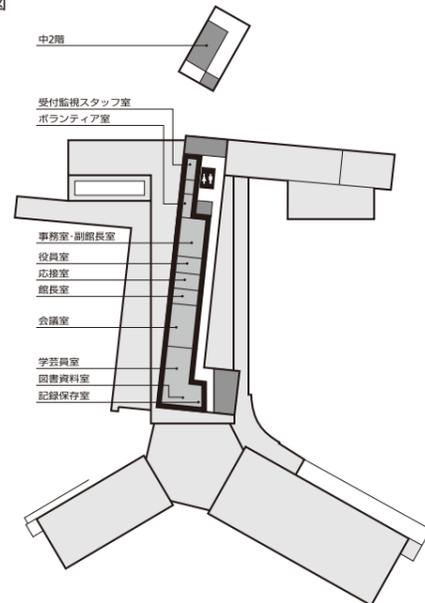
地下1階平面図



1階平面図



2階平面図



利用案内

1. 利用案内

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)
 祝日の翌日(土曜・日曜・祝日の場合は開館)
 年末年始(12月29日～1月3日)
 *このほか、展示替えなどで臨時に休館することがあります。

2. 観覧料

コレクション展 一般 310円(250円)
 大学生・高校生 210円(160円)
 中学生・小学生 100円(80円)
 *消費税込み、()内は20名以上の団体料金

企画展

企画展観覧料は、その都度設定
 ・宇都宮市在学または在住の高校生以下は観覧無料。
 ・4月1日(市民の日)と11月3日(文化の日)は、宇都宮市民は観覧無料。
 ・企画展開催中の毎月第3日曜日(家庭の日)は、高校生以下の方を含む家族で来館の場合、企画展観覧料が一般・大学生は半額、高校生以下は無料。
 ・身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている方、および障がい者を介護する方1名は観覧無料。

3. 交通案内

公共交通 JR東京駅から東北新幹線「JR宇都宮駅」下車(約50分)、
 JR宇都宮駅西口5番バス乗り場から関東バス「豊郷台・帝京大学經由宇都宮美術館」行き終点下車(約25分)、
 またはタクシー(約20分)。
 自動車 東北自動車道「宇都宮インターチェンジ」から約10km、「鹿沼インターチェンジ」から約14km、
 北関東自動車道「宇都宮上三川インターチェンジ」から約19km。
 駐車場 大型バス10台、普通車約200台(無料)



公益財団法人うつのみや文化創造財団理事会

(令和5年3月31日現在)

公益財団法人うつのみや文化創造財団理事・監事		
氏名	役職	備考
梓澤昌徳	公益財団法人うつのみや文化創造財団理事長 宇都宮市教育委員会教育次長	理事長
佐々木吉晴	宇都宮美術館館長	副理事長
笹原幸恵	公益財団法人うつのみや文化創造財団事務局長 宇都宮市文化会館館長兼務	常務理事
赤羽 薫	洋画家	理事
赤羽根 肇	元とちぎ総研専務理事	理事
鎌田邦義	栃木県交響楽団理事	理事
須賀英之	宇都宮共和大学学長、宇都宮短期大学学長	理事
妻木律子	舞踊家、一般社団法人現代舞踊協会理事	理事
松江比佐子	特定非営利活動法人チャイルドラインとちぎ理事長	理事
三井美紀	株式会社栃木リビング新聞社編集部長	理事
三橋伸夫	うつのみや市政研究センター所長	理事
木村 謙	木村・岡部法律事務所所長	監事
森田美支子	関東信越税理士会宇都宮支部 常務理事	監事

理事会開催実績

開催年月日	会場	備考
令和4年5月25日(水)	(書面開催)	決議の省略
令和4年6月9日(木)	(書面開催)	決議の省略
令和4年11月10日(木)	宇都宮市文化会館第一会議室	
令和4年12月23日(金)	(書面開催)	決議の省略
令和5年2月8日(水)	宇都宮市文化会館第一会議室	
令和5年3月8日(水)	(書面開催)	決議の省略

公益財団法人うつのみや文化創造財団評議員会

(令和5年3月31日現在)

公益財団法人うつのみや文化創造財団評議員		
氏名	役職	備考
青木紀一郎	宇都宮美術館友の会会長	評議員
岩本克行	栃木県交響楽団理事兼事務局長	評議員
大野 薫	元校長	評議員
大場文恵	東邦音楽大学特任教授	評議員
大竹信久	宇都宮市行政経営部長	評議員
清水崇司	学校法人宇都宮メディア・アーツ専門学校理事長	評議員
橋本大輔	株式会社新朝プレス代表取締役社長	評議員
花田千絵	作新学院大学女子短期大学部教授	評議員
福田文子	箏曲演奏家	評議員
船田雅弘	コクヨ北関東販売株式会社代表取締役	評議員
川津 聡	株式会社下野新聞社販売事業局販売事業本部長	評議員
山口達雄	宇都宮市教育委員会事務局文化課長	評議員
山中陽子	ゴスペル講師、ピアニスト	評議員
渡邊 弘	作新学院大学学長	評議員
渡邊美津子	宇都宮市子ども会連合会副会長	評議員

評議員会開催実績

開催年月日	会場	備考
令和4年6月9日(木)	(書面開催)	決議の省略
令和4年11月22日(火)	宇都宮市文化会館第一会議室	
令和4年12月23日(金)	(書面開催)	決議の省略
令和5年2月17日(金)	宇都宮市文化会館第一会議室	

宇都宮美術館協議会

(令和5年3月31日現在)

宇都宮美術館協議会委員

氏名	役職	備考
高島利佳子	宇都宮市小学校教育研究会工部会長、宇都宮市立豊郷中央小学校校長	委員
青木孝浩	宇都宮市中学校教育研究会美術部会長、宇都宮市立陽東中学校副校長	委員
佐藤育宏	小杉放菴記念日光美術館館長	委員
甘利知子	宇都宮美術館友の会副会長	委員
阿良山早苗	日本画家、宇都宮文星短期大学教授	委員
粕谷圭司	彫刻家、白鷗大学名誉教授	委員
本田悟郎	宇都宮大学教育学部准教授	委員

協議会開催実績

開催年月日	会場	備考
令和5年3月8日(水)	宇都宮美術館会議室	

うつのみや文化の森協議会

(令和5年3月31日現在)

うつのみや文化の森協議会委員

氏名	役職	備考
伊村 務	NPO法人オオタカ保護基金理事	委員
上野智之	宇都宮市立豊郷中央小学校教諭	委員
遠藤 隼	サシバの里自然学校校長	委員
大久保達弘	宇都宮大学農学部教授	委員
川田裕美	栃木両生爬虫類の会幹事	委員
小倉洋志	元自治会役員	委員
村岡 淳	公益財団法人グリーントラストうつのみや元理事	委員

協議会開催実績

開催年月日	会場	備考
令和5年1月18日(水)	宇都宮美術館会議室	

宇都宮美術館条例

平成8年9月27日 条例第34号

<p>【設置】</p> <p>第1条 美術に関する市民の知識及び教養の向上を図るとともに、市民文化の振興に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)第18条の規定に基づき、美術館を設置する。</p>	<p>【入館の制限】</p> <p>第8条 教育委員会は、入館者が次の各号の一に該当すると認めるときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。</p> <p>(1)公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。</p> <p>(2)美術品等、美術館の施設(以下「施設」という。)又は附属設備をき損し、又は汚損するおそれがあるとき。</p> <p>(3)施設の管理上支障があると認めるとき。</p> <p>(4)その他教育委員会が適当でないとき。</p> <p>(平15条例38・旧第6条線下)</p>
<p>【名称及び位置】</p> <p>第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。</p> <p>名称 宇都宮美術館</p> <p>位置 宇都宮市長岡町1077番地</p>	<p>【許可の取消し等】</p> <p>第9条 教育委員会は、使用者又は第7条第1項の規定による許可を受けた者が、次の各号の一に該当すると認めたとときは、講義室の使用若しくは撮影等を制限し、又はその許可を取り消すことができる。</p> <p>(1)この条例又はこの条例の施行規則に違反したとき。</p> <p>(2)前条各号の規定に該当するとき。</p> <p>(3)第5条第2項又は第7条第2項の規定に基づく許可の条件に違反したとき。</p> <p>(4)偽りその他不正な手段により講義室の使用又は撮影等の許可を受けたとき。</p> <p>(5)その他教育委員会が管理上必要があると認めるとき。</p> <p>(平15条例38・旧第7条線下・一部改正)</p>
<p>【事業】</p> <p>第3条 宇都宮美術館(以下「美術館」という。)において行う事業は、次のとおりとする。</p> <p>(1)美術品及び美術に関する資料(以下「美術品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。</p> <p>(2)美術に関する情報を提供すること。</p> <p>(3)美術に関する専門的な調査研究を行うこと。</p> <p>(4)美術に関する展覧会、講演会、講習会等を開催すること。</p> <p>(5)その他美術館の目的を達成するために必要な事業。</p>	<p>【観覧料等の減免】</p> <p>第10条 市長は、特別の理由があると認めるときは、観覧料、使用料及び撮影等料金(以下「観覧料等」という。)の全部又は一部を免除することができる。</p> <p>(平15条例38・旧第8条線下・一部改正)</p>
<p>【観覧料】</p> <p>第4条 美術館に展示されている美術品等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、市内に居住し、又は通学する高校生以下の者が観覧するときは、観覧料を徴収しない。</p> <p>3 第1項の規定にかかわらず、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第2条に規定する文化の日において、市内に居住する者が観覧するときは、観覧料を徴収しない。</p> <p>(平14条例19・平15条例31・一部改正)</p>	<p>【観覧料等の不還付】</p> <p>第11条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めたとときは、その全部又は一部を還付することができる。</p> <p>(平15条例38・旧第9条線下)</p>
<p>【使用許可】</p> <p>第5条 美術館の講義室を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。</p> <p>2 教育委員会は、美術館の管理上必要があると認めるときは、前項の許可に条件を付することができる。</p> <p>(平15条例38・追加)</p>	<p>【原状回復義務】</p> <p>第12条 美術品の観覧、講義室の使用又は撮影等をしようとする者は、美術品等、施設又は附属施設を損傷し、又は滅失したときは、教育委員会の指示に従い、速やかにこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。</p> <p>(平15条例38・旧第10条線下・一部改正)</p>
<p>【使用料】</p> <p>第6条 美術館の講義室の使用許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、別表第2に定める使用料を納付しなければならない。</p> <p>2 前項に定めるもののほか、設備を使用する使用者は、別表第3に定める使用料を納付しなければならない。</p> <p>(平15条例38・追加)</p>	<p>【目的外使用の許可】</p> <p>第13条 美術館に附属する食堂又は売店(以下「食堂等」という。)を専用して使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。</p> <p>2 前項の許可を受けて食堂等を使用する者は、別表第5に定める使用料を納付しなければならない。</p> <p>3 第10条及び第11条の規定は、食堂等の使用料について準用する。</p> <p>(平15条例38・旧第11条線下・一部改正)</p>
<p>【撮影等の許可】</p> <p>第7条 美術館に保管され、又は展示されている美術品等について、学術研究等のために複写、撮影等(以下「撮影等」という。)をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。</p> <p>2 教育委員会は、美術館の管理上必要があると認めるときは、前項の許可に条件を付することができる。</p> <p>3 第1項の許可を受けた者は、別表第4に定める撮影等料金を納付しなければならない。</p> <p>(平15条例38・旧第5条線下・一部改正)</p>	<p>【指定管理者による管理】</p> <p>第14条 教育委員会は、美術館の設置目的を効果的に達成するため、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の</p>

規定に基づく指定管理者(以下「指定管理者」という。)に美術館の管理を行わせることができる。

(平17条例57・全改)

【指定管理者が行う業務の範囲】

第15条 前条の規定により指定管理者に美術館の管理を行わせる場合に当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。

(1)第3条各号に掲げる事業の実施に関する業務

(2)美術館の利用及び撮影等の許可及び制限並びに入館及びその制限に関する業務

(3)美術館の維持管理に関する業務

(4)前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める業務

2 前項に規定する場合において、第5条、第7条から第9条まで及び第12条の規定の適用については、これらの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(平17条例57・追加)

【指定管理者が行う管理の基準】

第16条 指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく規則の定めるところに従い、適正に美術館の管理を行わなければならない。

(平17条例57・追加)

【利用料金】

第17条 第15条第1項に規定する場合において、次の各号に掲げる者は、当該各号に定める利用料金を指定管理者に納付しなければならない。

(1)美術館に展示されている美術品等を観覧しようとする者
観覧に係る利用料金

(2)第5条第1項の許可を受けた者
講義室に係る利用料金

(3)設備を利用する第5条第1項の許可を受けた者
設備に係る利用料金

(4)第7条第1項の許可を受けた者
撮影等に係る利用料金

2 第4条、第6条、第7条第3項、第10条及び第11条の規定は、利用料金については、適用しない。

3 第1項に規定する場合において、第5条の規定の適用については、同条の見出し中「使用許可」とあるのは「利用許可」とし、同条第1項中「使用」とあるのは「利用」とし、第9条の規定の適用については、同条中「使用者」とあるのは「第5条第1項の許可を受けた者」と、「使用」とあるのは「利用」とし、別表第3の規定の適用については、同表備考中「使用料」とあるのは「利用料金」と、「使用時間帯」とあるのは「利用時間帯」とする。

4 第1項の規定にかかわらず、市内に居住し、若しくは通学する高校生以下の者が観覧するとき又は国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第2条に規定する文化の日において、市内に居住する者が観覧するときは、観覧に係る利用料金を徴収しない。

5 指定管理者は、第1項の利用料金を自己の収入として収受するものとする。

(平17条例57・追加)

【利用料金の承認】

第18条 利用料金は、別表第1から別表第4までに定める金額の範囲内で指定管理者があらかじめ市長の承認を受けて定めるものとする。これを変更するときも、同様とする。

2 市長は、利用料金が第14条の管理に係る業務の適切な運営に要する費用に照らし妥当なものと認めるときは、前項の承認を与えるものとする。

3 指定管理者は、第1項の承認を受けたときは、速やかにその利用料金を公表しなければならない。

(平17条例57・追加)

【利用料金の減免】

第19条 指定管理者は、市長が特別の理由があると認めるときは、利用料金の全部又は一部を免除することができる。

(平17条例57・追加)

【利用料金の不還付】

第20条 既納の利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者は、市長が特別の理由があると認めたとときは、その全部又は一部を還付することができる。

(平17条例57・追加)

【委任】

第21条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が定める。

(平15条例38・旧第13条線下、平17条例57・旧第15条線下)

附則

【施行期日】

1 この条例は、規則で定める日から施行する。

【観覧料の特例】

2 第4条第1項の規定にかかわらず、規則で定める期間においては、市内に居住する者が観覧するときは、観覧料を徴収しない。

附則(平成9年3月24日条例第4号)抄

【施行期日】

1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附則(平成14年3月25日条例第19号)

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

附則(平成15年6月27日条例第31号)

この条例は、平成15年7月1日から施行する。

附則(平成15年12月19日条例第38号)

【施行期日】

1 この条例は、平成16年4月1日から施行する。

附則(平成16年12月27日条例第37号)抄

【施行期日】

1 この条例は、平成17年4月1日(以下「施行日」という。)から施行する。

附則(平成17年6月24日条例第57号)

【施行期日】

1 この条例は、公布の日から施行する。

【経過措置】

2 この条例の施行の際現に改正前の第14条の規定により管理を委託している美術館の管理については、地方自治法の一部を改正する法律(平成15年法律第81号)の施行の日から起算して3年を経過する日(同日前に地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき当該施設の管理に係る指定をした場合には、当該指定に係る期間の初日の前日)までの間は、なお従前の例による。

3 指定管理者に美術館の管理を行わせる場合においては、当該管理を行わせる日前にこの条例による改正前の宇都宮美術館条例の規定により教育委員会がした許可その他の行為又は教育委員会に対してなされた申請その他の行為(同日以後の使用に係るものに限る。)は、この条例による改正後の宇都宮美術館条例の規定により指定管理者がした許可その他の行為又は指定管理者に対してなされた申請その他の行為とみなす。

宇都宮美術館協議会要領

平成9年2月18日 規程第7号

【設置】

第1条 宇都宮美術館の運営について、美術館長の諮問に応じるため、宇都宮美術館協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

【組織】

第2条 協議会は、委員6名以上10名以内をもって組織する。
2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから館長が委嘱する。

- (1)学識経験を有する者
- (2)社会教育関係者
- (3)学校教育関係者

【委員長】

第3条 協議会に委員長を1人置き、委員がこれを互選する。
2 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指定する委員がその職務を代理する。

【任期】

第4条 委員の任期は2年とし再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。

【協議会の招集等】

第5条 協議会は、美術館長の要請により委員長が招集し、委員長が議長となる。
2 協議会の会議は、委員の2分の1以上が出席しなければ開くことができない。
3 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

附則

この要領は、平成9年4月1日から施行する。

附則

この要領は、平成29年4月1日から施行する。

うつのみや文化の森協議会要領

平成9年2月18日 規程第6号

【設置】

第1条 うつのみや文化の森の公園施設の運営について、美術館長の諮問に応じるため、うつのみや文化の森協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

【組織】

第2条 協議会は、委員5名以上8名以内をもって組織する。
2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから館長が委嘱する。

- (1)学識経験を有する者
- (2)社会教育関係者
- (3)学校教育関係者
- (4)公園管理業務経験を有する者

【委員長】

第3条 協議会に委員長を1人置き、委員がこれを互選する。
2 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指定する委員がその職務を代理する。

【任期】

第4条 委員の任期は2年とし再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。

【協議会の招集等】

第5条 協議会は、美術館長の要請により委員長が招集し、委員長が議長となる。
2 協議会の会議は、委員の2分の1以上が出席しなければ開くことができない。
3 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

附則

この要領は、平成9年4月1日から施行する。

附則

この要領は、平成29年4月1日から施行する。

宇都宮市美術品等収集基金条例

平成8年3月22日 条例第5号

【設置】

第1条 美術品及び美術に関する資料(この条例において「美術品等」という。)の収集を円滑かつ効率的に行うため、宇都宮市美術品等収集基金(以下「基金」という。)を設置する。

【基金の額】

第2条 基金の額は、5億円とする。

【管理】

第3条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

【委任】

第4条 この条例の施行について必要な事項は、市長が定める。

附則

この条例は、平成8年4月1日から施行する。

宇都宮美術館美術作品等収集評価委員会設置要領

【設置】

第1条 宇都宮美術館において収集する美術作品及び美術に関する資料(以下「美術作品等」という。)の収集、評価を適切かつ円滑に行うため、宇都宮美術館美術作品等収集評価委員会(以下「委員会」という。)を置く。

【所掌事務】

第2条 委員会は、前条の設置目的を達成するため、次の事項を審議する。
(1)美術作品等の収集の適否及び評価に関すること。
(2)その他美術に関する専門的な事項に関すること。
第3条 委員会は、委員10人以内をもって組織する。
2 委員は、美術に関し専門的知識を有する者及び学識経験者のうちから教育長が委嘱する。
3 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員を生じた場合には委員を補充することができる。補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。

【臨時委員】

第4条 教育長は、特別の事項を審議するため、必要あるときは、臨時委員を委嘱することができる。
2 臨時委員は、前項の審議が終了したときは、解嘱されるものとする。

【委員長及び副委員長】

第5条 委員会に委員長及び副委員長を1人置き、委員がこれを互選する。
2 委員長は、会務を総理する。
3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

【会議】

第6条 委員会は、委員長が招集する。
2 委員会の議長は、委員長がこれにあたり議事を進行する。
3 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。
4 委員は、自己に関係のある美術作品等の審議にあたっては委員会に出席することができない。
5 委員会において、美術作品等の収集、評価に関することを審議したときは、その結果を教育長に報告する。
6 美術作品等の寄贈又は寄託を受ける場合において、委員会を招集する暇がないときの審議方法については、教育長の定めるところによる。

【守秘義務】

第7条 委員は、職務上知り得た秘密をもらしてはならない。その職務を引いた後も、また、同様とする。

【庶務】

第8条 委員会の庶務は、文化課において処理する。

【委任】

第9条 この要領に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、教育長が別に定める。

附則

この要領は、平成9年11月27日から施行する。

附則

この要領は、平成21年11月1日から施行する。

第1章 総則

【目的】

第1条 この条例は、別に定めがあるものを除き、市公園の設置、管理等について必要な事項を定め、公園の健全な発達と利用の適正を図り、もつて市民の福祉の増進と生活文化の向上に寄与することを目的とする。

【種別及び設置場所】

第8条 公園有料施設の種別及び設置場所は、次のとおりとする。

種別	美術館
設置場所	うつのみや文化の森

(平3条例41・全改、平7条例20・平8条例40・平14条例40・平15条例38・平19条例37・平19条例65・平19条例85・平22条例34・一部改正)

【美術館の管理等】

第33条 この条例の規定(第8条を除く。)にかかわらず、うつのみや文化の森に設置する美術館の管理及び使用料について必要な事項は、別に条例で定める。
(平8条例40・追加、平16条例43・旧第28条線下)

【指定管理者による管理】

第34条 市長は、公園の設置目的を効果的に達成するため、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定に基づく指定管理者(以下「指定管理者」という。)に公園の管理を行わせることができる。
(平17条例59・追加)

【指定管理者が行う業務の範囲】

第35条 前条の規定により指定管理者に公園の管理を行わせる場合に当該指定管理者が行う業務は、次に掲げる業務とする。
(1)公園有料施設の利用の許可及び制限に関する業務
(2)公園の利用の禁止又は制限に関する業務
(3)公園の維持管理に関する業務
(4)前3号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務
2 前項に規定する場合において、第8条の2及び第8条の3の規定の適用については、これらの規定(第8条の2第5項を除く。)中「市長」とあるのは、「指定管理者」とする。
3 第1項に規定する場合において、第22条の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合には、指定管理者は、公園有料施設の利用の許可を取り消し、又は利用を停止することができる。
(1)公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
(2)偽りその他不正な手段により、この条例の規定により許可を受けたとき。
(3)第11条又は第19条の規定に違反したとき。
(4)その他公園の管理上必要があるとき。
(平17条例59・追加)

【指定管理者が行う管理の基準】

第36条 指定管理者は、この条例及びこの条例に基づく規則の定めるところに従い、適正に公園の管理を行わなければならない。
(平17条例59・追加)

附則

1 この条例は、公布の日から施行し、昭和29年7月1日から適用する。

附則(平成8年9月27日条例第40号)

この条例は、平成8年10月10日から施行する。ただし、第8条の表に美術館の項を加える改正規定及び第28条を第29条とし、第27条の次に1条を加える改正規定は、うつのみや文化の森の供用開始の告示の日から施行する。

附則(平成16年12月27日条例第37号)抄

【施行期日】

1 この条例は、平成17年4月1日(以下「施行日」という。)から施行する。

附則(平成16年12月27日条例第43号)

この条例は、平成17年1月1日から施行する。

附則(平成17年6月24日条例第59号)

【施行期日】

1 この条例は、公布の日から施行する。

【経過措置】

2 この条例の施行の際現に改正前の第7条の3の規定により管理を委託している公園の管理については、地方自治法の一部を改正する法律(平成15年法律第81号)の施行の日から起算して3年を経過する日(同日前に地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき当該施設の管理に係る指定をした場合には、当該指定に係る期間の初日の前日)までの間は、なお従前の例による。
3 指定管理者に公園の管理を行わせる場合においては、当該管理を行わせる日前にこの条例による改正前の宇都宮市公園条例の規定により市長がした許可その他の行為又は市長に対してなされた申請その他の行為(同日以後の使用に係るものに限る。)は、この条例による改正後の宇都宮市公園条例の規定により指定管理者がした許可その他の行為又は指定管理者に対してなされた申請その他の行為とみなす。

【趣旨】

第1条 この規則は、宇都宮市公園条例(昭和29年条例第27号。以下「条例」という。)第42条の規定に基づき、条例の施行について必要な事項を定めるものとする。
(平11規則34・平17規則74・一部改正)

【指定管理者に管理を行わせる場合における規定の適用】

第14条 条例第34条の規定により指定管理者に公園の管理を行わせる場合における第5条の規定の適用については、同条第1項中「市長」とあるのは、「指定管理者」とする。
(平17規則74・全改、平19規則102・一部改正)

附則

【施行期日】

1 この規則は、昭和38年4月1日から施行する。

附則(平成8年9月27日規則第79号)

この規則は、平成8年10月10日から施行する。ただし、第14条の改正規定中「財団法人宇都宮市体育文化振興公社に」の右に「、うつのみや文化の森の管理を財団法人うつのみや文化の森に」を加える部分は、うつのみや文化の森の供用開始の告示の日から施行する。

附則(平成17年6月24日規則第74号)

この規則は、公布の日から施行する。

附則(平成19年12月21日規則第102号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

宇都宮美術館年報 No.26 令和4年度(2022.4~2023.3)
令和5年12月28日発行

編集・発行 宇都宮美術館 公益財団法人うつのみや文化創造財団
〒320-0004
栃木県宇都宮市長岡町1077
tel: 028-643-0100 fax: 028-643-0895
©宇都宮美術館2023

デザイン 勝井三雄、大高奈津子

印刷 株式会社井上総合印刷